

## 10.11 植物

調査区域には植物の重要な種及び群落が存在し、土地または工作物の存在及び供用として道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在に係る影響、工事の実施として工事施工ヤードの設置に係る影響、工事中道路等の設置に係る影響が考えられるため、植物の調査、予測及び評価を行いました。

### 10.11.1 道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在、工事施工ヤードの設置、工事中道路等の設置に係る植物

#### 1) 調査結果の概要

##### (1) 調査した情報

調査した情報は以下のとおりです。

- a) 植物相及び植生の状況
- b) 重要な種及び群落の状況
  - ・重要な種及び群落の生態
  - ・重要な種及び群落の分布状況
  - ・重要な種及び群落の生育環境（土壌含む）の状況

##### (2) 調査の手法

###### a) 植物相及び植生の状況

###### (a) 既存資料調査

植物相及び植生の状況の既存資料調査は、一般公開されている調査区域に生育記録等のある最新年次の調査資料等の収集により整理しました。

###### (b) 現地調査

維管束植物、非維管束植物及び植生の状況の現地調査の調査手法を表 10.11-1 に示します。調査地点及び踏査ルートを発表することにより、希少種が確認された地点がより限定され、採集により種の減少が懸念されるため、調査地点図及び踏査ルート図は非公表とします。

表 10.11-1 植物の調査手法

調査項目	調査方法	
維管束植物 (種子植物、シダ植物) 非維管束植物 (蘚苔類、地衣類、大型菌類 (きのこ類))	直接観察及び採取	調査地区内を踏査して、確認された種を全て記録した。なお、現地で種名の確認が困難な場合等は、必要に応じて個体を持ち帰って同定を行った。
非維管束植物 (藻類)	直接観察及び採取	任意に踏査を行い、箱めがね等を用いて岩盤や礫に付着した比較的大型の藻類の有無を観察した。 調査地点は、計画路線が横断する河川に設定し、河川へのアクセスが可能な地点とした。なお、地点数は8河川に各1地点の計8地点とした。 発見した比較的大型の藻類は現地での同定を基本としたが、現地において同定が困難な種については一部を持ち帰り、種の同定を行った。
	定量採取	定量採取は、河床の礫のなるべく平面的な部分に5cm×5cmの方形枠(コドラート)をあて、その枠外を歯ブラシまたはカネブラシで取り去り、その後バットの中に枠内の付着物を全量こすり落としてサンプリングし、中性ホルマリンを5%~10%程度加え固定した。 1 サンプルは、4つの礫より採取して合計100cm <sup>2</sup> (25cm <sup>2</sup> ×4=100cm <sup>2</sup> )とした。採取した付着藻類は持ち帰って種の判別、細胞数の計数を行った。
植生	植物社会学的調査法	調査にあたっては、航空写真の判読及び植物相調査時の任意観察の情報から調査地域の植生や土地利用を相観的に区分し、現存植生の素図を作成した。現地調査では、相観的な植物群落ごとに、それぞれの植物群落に適した大きさの方形枠を1~数箇所設定して、枠内の植物種の出現状況(被度・群度)、階層構造、優占種等を記録し、植物群落を区分した。また、素図の区分内容や区分境界等の確認補正を行って現存植生図を作成した。

b) 重要な種及び群落の状況

(a) 重要な種及び群落の生態

重要な種及び群落の生態等については、図鑑、研究論文、その他の資料の収集により整理しました。

(b) 重要な種及び群落の生態、分布状況、生育環境の状況

重要な種及び群落の生態、分布状況、生育環境の状況については、選定根拠に該当する種及び群落について、「植物相及び植生の状況」と併せて行いました。重要な種の選定根拠を表 10.11-2 に、重要な群落等の選定根拠を表 10.11-3 に、重要な種の選定基準を表 10.11-4 に示します。

表 10.11-2 重要な種の選定根拠

法令、文献等		選定根拠	
法令による指定	①	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別天然記念物</li> <li>・国指定天然記念物</li> </ul>
		「千葉県文化財保護条例」(昭和 30 年 3 月 29 日 条例第 8 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県指定天然記念物</li> </ul>
		「館山市文化財の保護に関する条例」(昭和 51 年 6 月 18 日) 「南房総市文化財保護条例」(平成 18 年 3 月 20 日) 「鋸南町文化財の保護に関する条例」(昭和 51 年 3 月 4 日) 「富津市文化財の保護に関する条例」(昭和 46 年 4 月 25 日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定天然記念物</li> <li>・町指定天然記念物</li> </ul>
	②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内希少野生動植物種</li> <li>・特定国内希少野生動植物種</li> <li>・緊急指定種</li> </ul>
	⑤	「自然公園法」(昭和 32 年 6 月 1 日 法律第 161 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「南房総国立公園の指定植物」(平成 19 年 8 月 3 日 環境省)</li> <li>・①分布の特殊性を有する種</li> <li>・②絶滅危惧種及び希少種</li> <li>・③希少な動物の生息に必要な種</li> <li>・④特殊な栄養摂取を行う種</li> <li>・⑤特殊な条件の立地に生育する種</li> <li>・⑥季観を構成する特徴的な種</li> <li>・⑦園芸業者、薬種業者、マニア等の採取対象となる種</li> <li>・⑧その他各公園の実情に応じて選定する種</li> </ul>
文献による指定	③	「環境省レッドリスト 2020 の公表について」(令和 2 年 3 月 27 日 環境省報道発表資料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅 (EX)</li> <li>・野生絶滅 (EW)</li> <li>・絶滅危惧 I 類 (CR+EN)</li> <li>・絶滅危惧 I A 類 (CR)</li> <li>・絶滅危惧 I B 類 (EN)</li> <li>・絶滅危惧 II 類 (VU)</li> <li>・準絶滅危惧 (NT)</li> <li>・情報不足 (DD)</li> <li>・地域個体群 (LP)</li> </ul>
		④	「千葉県の保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—植物・菌類編 (2023 年改訂版)」(令和 5 年 7 月 千葉県環境生活部自然保護課)

表 10.11-3 重要な群落等の選定根拠

		法令、文献等	選定根拠
法令による指定	①	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号)	・特別天然記念物 ・国指定天然記念物
		「千葉県文化財保護条例」(昭和 30 年 3 月 29 日 条例第 8 号)	・県指定天然記念物
		「館山市文化財の保護に関する条例」(昭和 51 年 6 月 18 日) 「南房総市文化財保護条例」(平成 18 年 3 月 20 日) 「鋸南町文化財の保護に関する条例」(昭和 51 年 3 月 4 日) 「富津市文化財の保護に関する条例」(昭和 46 年 4 月 25 日)	・市指定天然記念物 ・町指定天然記念物
文献による指定	⑥	「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」 (平成 12 年 3 月 環境庁自然保護局生物多様性センター)	・特定植物群落
		「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 関東版(Ⅱ)」 (平成 3 年 5 月 環境庁) 「第 6 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」 (平成 13 年 3 月 環境省自然環境局生物多様性センター)	・巨樹(単木) ・巨木林(樹林・並木)
		「植物群落レッドデータブック」 (平成 8 年 4 月 15 日 (財)日本自然保護協会・他)	・ランク 4 (R4) ・ランク 3 (R3) ・ランク 2 (R2) ・ランク 1 (R1)
		「千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-群集・群落編」(令和 2 年 12 月 千葉県環境生活部自然保護課)	・保護上重要な群集・群落

表 10.11-4(1) 重要な種の選定基準

区 分		選 定 基 準	
①	特別天然記念物	国指定天然記念物のうち特に重要な記念物について指定する。	
	国指定天然記念物	国指定文化財のうち、動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で我が国にとって学術上価値の高いもの。	
	県指定天然記念物	県指定文化財のうち、動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で、県にとって学術上価値の高いもの。	
	市指定天然記念物	市指定文化財のうち、動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で、市にとって学術上価値の高いもの。	
	町指定天然記念物	町指定文化財のうち、動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で、町にとって学術上価値の高いもの。	
②	国内希少野生動植物種	その個体が本邦に生息または生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で定めるもの。	
	特定国内希少野生動植物種	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう。 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものですこと。 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと。	
	緊急指定種	環境大臣が、国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定する種。	
③	絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。	
	野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下でのみ存続している種。	
	絶滅危惧	絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種。
		絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
		絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種。
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種。	
情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種。		
地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。		
④	消息不明・絶滅生物 (X)	かつては生息・生育が確認されていたにもかかわらず、近年長期（およそ50年間）にわたって確実な生存情報がなく、千葉県から絶滅した可能性が強い生物。	
	野生絶滅 (EW)	かつては千葉県に生息・生育していた生物の種類が、野生・自生では見られなくなったにもかかわらず、かつて千葉県に野生していた個体群の子孫が、飼育・栽培などによって、維持されているもの。特に埋土種子や埋土胞子などから再生した個体がありながら、本来の自生地では環境の変化によって生息・生育が維持できない状態の種。	
	最重要保護生物 (A)	個体数が極めて少ない、生息・生育環境が極めて限られている、生息・生育地のほとんどが環境変化の危機にある、などの状況にある生物。	
	重要保護生物 (B)	個体数がかなり少ない、生息・生育環境がかなり限られている、生息・生育地のほとんどが環境変化の可能性のある、などの状況にある生物。	
	要保護生物 (C)	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境変化の可能性のある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、近い将来カテゴリーBに移行することが予測されるもの。	
	一般保護生物 (D)	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境変化の可能性のある、などの状況にある生物。放置すれば個体数の減少は避けられず、自然環境の構成要素としての役割が著しく衰退する可能性があり、近い将来カテゴリーCに移行することが予測されるもの。	
	保護参考雑種 (RH)	自然界において形成されることがまれな雑種であって、個体数が著しく少なく、分布地域及び生息・生育環境が著しく限定されているもの。	

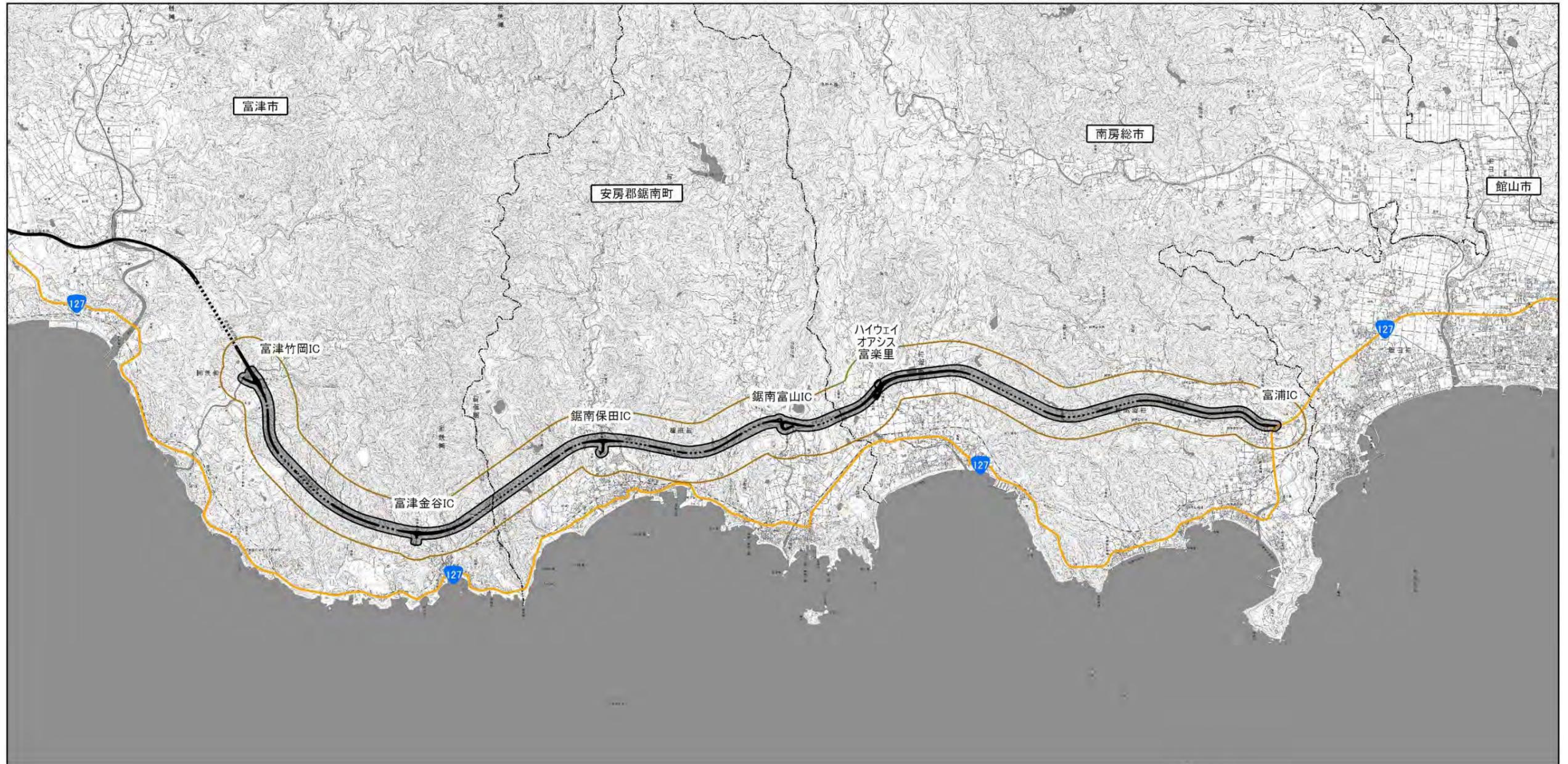
表 10.11-4(2) 重要な種の選定基準

区 分	選 定 基 準
①分布の特殊性を有する種	a 分布の範囲が当該国立公園、国定公園及びその周辺に限定されている種 b 隔離分布を呈する種 c 当該国立公園、国定公園が国内における分布の東西南北の限界（もしくはそれに近い地
②絶滅危惧種及び希少種	a 環境省レッドリストの絶滅危惧種 b 地域的に特に個体数が少ない種
③希少な動物の生息に必要な種	希少な動物（高山蝶等）の生息域にあって、当該動物と密接な種間関係（食草等）にある種
④特殊な栄養摂取を行う種	a 食虫植物 b 腐生植物（菌従属栄養植物） c 寄生植物
⑤ ⑤特殊な条件の立地に生育する種	以下のいずれかまたは複数を主要な生育地とする種 a 火山 b 岩壁、岩隙地 c 特殊岩石地 d 崩壊性砂礫地 e 雪崩斜面 f 海岸断崖、砂丘 g 風衝地 h 風穴 i 雪田 j 高層湿原、中間湿原、湧水湿地 k 池塘、流水縁 l 塩沼地 m 減水裸地（水位低下により一時的に生じる湿った裸地） n 溪岸 o 雲霧帯 p 樹幹、樹上
⑥季観を構成する特徴的な種	季節的な変化を見せる植物群落の構成種で特徴的な種
⑦園芸業者、薬種業者、マニア等の採取対象となる種	商品的価値がある種または収集の対象となる種
⑧その他各公園の実情に応じて選定する種	選定基準①～⑦で選定されないが、学術的な観点や公園利用の観点、その他により各公園で特別に選定する必要がある場合に、本基準で選定する。

(3) 調査地域及び調査地点

調査地域は、対象事業実施区域端部から概ね 250m の範囲を目安としました。

調査地点及び調査経路は、植物の生態的な特性、周辺の地形状況、植生等を踏まえ、調査地域に生育する植物を効率よく把握できる経路及び場所を設定しました。また、植生の群落組成調査の調査地点（方形枠）は、植物の生態的な特性、周辺の地形状況等を踏まえ、調査地域に分布する植物群落を的確に把握できる地点を設定しました。調査地域を図 10.11.1-1 に示します。



凡 例

- 対象事業実施区域
- 既存自動車専用道路
- 既存自動車専用道路（トンネル部）
- 市町界
- 植物調査範囲

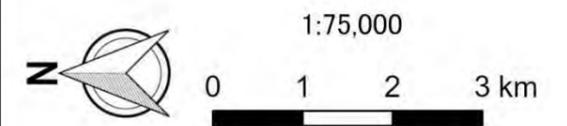


図 10.11.1-1  
植物調査範囲

(4) 調査期間等

調査時期は、夏季・秋季・早春季・春季の4季を基本とし、調査地域に生育する維管束植物、非維管束植物及び植生を確認しやすい時期としました。各項目の調査時期を表 10.11-5 に示します。

表 10.11-5 植物の調査時期

調査項目		調査期間
維管束植物（種子植物、シダ植物）		夏季 : 令和4年7月21日～22日、25日～28日 秋季 : 令和4年9月21日～22日、26日～29日 早春季 : 令和5年2月21日～22日、27日～28日、3月1日～2日、7日 春季 : 令和5年4月10日～11日、17日～20日
非維管束植物	藻類	夏季 : 令和4年7月28日～29日 秋季 : 令和4年10月6日～7日 早春季 : 令和5年3月3日、7日 春季 : 令和5年4月13日～14日
	蘚苔類	夏季 : 令和4年8月22日～27日 秋季 : 令和4年10月26日～30日 早春季 : 令和5年2月21日～22日、27日～28日、3月1日～2日 春季 : 令和5年4月10日～11日、17日～20日
	地衣類	夏季 : 令和4年8月24日～29日 秋季 : 令和4年10月26日～31日 早春季 : 令和5年2月21日～22日、27日～28日、3月1日～2日 春季 : 令和5年4月10日～11日、17日～20日
	大型菌類 （きのこ類）	夏季 : 令和4年8月1日～3日、8日～10日 秋季 : 令和4年9月28日～30日、10月8日～10日 早春季 : 令和5年3月20日～22日、29日～31日 春季 : 令和5年4月16日～21日

## (5) 調査結果

### a) 維管束植物

#### (a) 維管束植物の状況

現地調査において 153 科 1,018 種の植物を確認しました。

確認種は、房総半島の丘陵地や緑の多い住宅地に見られる種で構成されていました。樹林環境では主にスダジイやアカガシ、マテバシイ、スギなどが樹冠を形成しており、下層にはカクレミノやナワシログミ、ムラサキシキブ、イヌビワなどの低木類、アズマネザサ、ナガバジャノヒゲ、リョウメンシダなどの草本類が確認されました。水田や放棄水田では、コナギやオモダカ、イボクサ、ヒデリコ、マツバイなどの湿性植物が確認されました。市街地や耕作地周辺では、メドハギやヨモギ、カタバミなどの在来種のほか、ヒメオドリコソウやオオイヌノフグリ、ハルジオンなどの外来種が多く確認されました。河川などの水域周辺ではメダケやツルヨシ、オギなどが確認されました。その他、外来生物ですアイオオアカウキクサ、シュロ、ノハカタカラクサ、オオフサモ、オオキンケイギク、セイタカアワダチソウ等も各地で確認されました。

現地確認状況を表 10.11-6 に、現地調査結果の概要を表 10.11-7 に示します。なお、既存資料調査結果の概要を、「第 4 章 4.1.5 動植物の生息または生育、植生及び生態系の状況 2) 植物の状況 (3) 植物相の状況 a) 維管束植物」に示します。

表 10.11-6 維管束植物の現地確認状況

分類		種科数	
		夏季	秋季
シダ植物		21 科 82 種	21 科 84 種
種子植物	裸子植物	6 科 9 種	5 科 10 種
	被子植物	124 科 667 種	118 科 682 種
合計		151 科 758 種	144 科 776 種
分類		種科数	
		早春季	春季
シダ植物		18 科 69 種	19 科 77 種
種子植物	裸子植物	5 科 12 種	6 科 11 種
	被子植物	85 科 342 種	107 科 556 種
合計		108 科 423 種	132 科 644 種
分類		種科数	
		現地調査全体	
シダ植物		21 科 101 種	
種子植物	裸子植物	6 科 13 種	
	被子植物	126 科 904 種	
合計		153 科 1,018 種	

表 10.11-7 維管束植物の現地調査結果の概要

主な生育環境	主な確認種
樹林環境	クヌギ、コナラ、ムクノキ、エゴノキ、ミズキ、ヤブコウジ、シラカシ、スダジイ、スギ、ヒノキ、ヤブツバキ、イロハモミジ、アオキ、ムラサキシキブ、ヒサカキ、アズマネザサ、サンショウ、ベニシダ、ナガバジャノヒゲ、ケチヂミザサ、キヅタ など
耕作地及び緑の多い住宅地環境	ススキ、チガヤ、ヨモギ、メヒシバ、ギョウギシバ、エノコログサ、クズ、アズマネザサ、セイタカアワダチソウ、オオブタクサ、メダケ、ヌルデ、アカメガシワ、オオバコ、シロツメクサ、カタバミ など
水辺環境	タチヤナギ、ヨシ、セイタカアワダチソウ、カナムグラ、スギナ、アオツツラフジ、アメリカセンダングサ、オギ、ヒメガマ、カサスゲ、フトイ など

(b) 重要な維管束植物

現地調査により確認された重要な維管束植物種は 45 科 89 種でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物種とその選定理由を表 10. 11-8 に示します。

表 10. 11-8(1) 重要な維管束植物

目名	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
シダ植物	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ		●	-	-	-	C	-	
	イワヒバ	カタヒバ	●	●	-	-	-	C	-	
		イワヒバ	●	●	-	-	-	B	②, ⑤b, ⑥, ⑦	
	ハナヤスリ	ナツノハナワラビ	●	●	-	-	-	C	-	
		ヒロハハナヤスリ		●	-	-	-	C	-	
	マツバラシ	マツバラシ	●	●	-	-	NT	A	①c, ②, ④d, ⑤b	
	リュウビソウ	リュウビソウ		●	-	-	-	A	-	
	コケシノブ	アオホラゴケ			●	-	-	-	B	-
		ウチワゴケ	●	●	-	-	-	C	-	
		コウヤコケシノブ		●	-	-	-	C	-	
		キヨスミコケシノブ		●	-	-	-	A	-	
		ホソバコケシノブ		●	-	-	-	A	-	
	デンジソウ	デンジソウ		●	-	-	VU	B	-	
	サンショウモ	オオアカウキクサ		●	-	-	-	EN	C	-
		サンショウモ		●	-	-	-	VU	B	-
	キジノオシダ	オオキジノオ		●	-	-	-	C	-	
	ホングウシダ	ハマホラシノブ		●	-	-	-	B	-	
	コバノイシカグマ	ユノミネシダ	●		-	-	-	-	-	
		クジャクフモトシダ		●	-	-	-	RH	-	
		フモトカグマ	●	●	-	-	-	D	-	
		オドリコカグマ		●	-	-	-	A	-	
		イシカグマ		●	-	-	-	B	-	
		ウスバイシカグマ		●	-	-	NT	A	-	
	イノモトソウ	クジャクシダ		●	-	-	-	C	-	
		ハチジョウシダ		●	-	-	-	A	-	
		ハチジョウシダモドキ	●	●	-	-	-	C	-	
		ナチシダ	●	●	-	-	-	C	-	
	チャセンシダ	コバノヒノキシダ	●	●	-	-	-	D	-	
		コウザキシダ		●	-	-	-	B	-	
		クモノスシダ		●	-	-	-	C	-	
		イワトラノオ	●	●	-	-	-	B	-	
		ホウビシダ		●	-	-	-	C	-	
	イワデンダ	フクロシダ		●	-	-	-	X	-	
		イワデンダ		●	-	-	-	B	-	
	メシダ	ウラボシノコギリシダ		●	-	-	-	B	-	
		カラクサイヌワラビ		●	-	-	-	C	-	
シケチシダ			●	-	-	-	D	-		
タニヌワラビ			●	-	-	-	A	-		
オオヒメワラビ			●	-	-	-	C	-		
ヒカゲワラビ			●	-	-	-	D	-		
シロヤマシダ		●	●	-	-	-	C	-		
ミヤマノコギリシダ			●	-	-	-	B	-		
オニヒカゲワラビ		●	●	-	-	-	C	-		
ヒュウガシダ			●	-	-	-	A	-		
コクモウクジャク			●	-	-	-	A	-		
ノコギリシダ	●		-	-	-	-	①c, ②			

表 10.11-8(2) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況				
					①	②	③	④	⑤
シダ植物	オンダ	オニカナワラビ	●	●	-	-	-	C	-
		ナンゴクナライシダ		●	-	-	-	C	-
		カツモウイノデ		●	-	-	-	B	-
		ヒメオニヤブソテツ		●	-	-	-	C	-
		ヒロハヤブソテツ		●	-	-	-	B	-
		ツクシヤブソテツ		●	-	-	-	B	-
		イワヘゴ		●	-	-	-	C	-
		ハチジョウベニシダ		●	-	-	-	D	-
		ツクシイワヘゴ		●	-	-	-	D	-
		オシダ		●	-	-	-	C	-
		イヌイワイタチシダ		●	-	-	-	A	-
		ナガサキシダ	●	●	-	-	-	C	-
		ナガバノイタチシダ	●	●	-	-	-	D	-
		タニヘゴ		●	-	-	-	A	-
		ナンカイイタチシダ		●	-	-	-	C	-
		カタイノデ		●	-	-	-	C	-
		アマギイノデ		●	-	-	-	RH	-
		オオキヨズミシダ		●	-	-	-	D	②
		サイゴクイノデ		●	-	-	-	D	-
		イノデモドキ		●	-	-	-	C	-
	シノブ	シノブ		●	-	-	-	B	-
	ウラボシ	ヌカボシクリハラン		●	-	-	-	B	-
		ヒメノキシノブ		●	-	-	-	B	-
イワヤナギシダ			●	-	-	-	A	-	
カラクサシダ			●	-	-	-	A	-	
イワオモダカ			●	-	-	-	A	②, ④d, ⑤b, ⑦	
ピロードシダ			●	-	-	CR	B	-	
裸子植物	マツ	ゴヨウマツ		●	-	-	-	A	-
	ヒノキ	オオシマハイネズ		●	-	-	-	D	-
		イブキ		●	-	-	-	C	-
		ネズミサシ		●	-	-	-	D	-
		ボウシュウネズ		●	-	-	-	RH	-
被子植物	スイレン	コウホネ		●	-	-	-	B	-
	マツブサ	マツブサ		●	-	-	-	D	-
	センリョウ	センリョウ	●	●	-	-	-	D	-
	ウマノスズクサ	カンアオイ	●	●	-	-	-	-	①b, ②, ④a, ⑦
	モクレン	ヒロハオガタマノキ		●	-	-	-	D	-
	クスノキ	バリバリノキ		●	-	-	-	B	-
		アブラチャン		●	-	-	-	B	-
		イヌガシ		●	-	-	-	B	-
被子植物 単子葉植物	サトイモ	ミミガタテンナンショウ		●	-	-	-	B	-
	オモダカ	サジオモダカ		●	-	-	-	B	-
		トウゴクヘラオモダカ		●	-	-	VU	C	-
		アギナシ		●	-	-	NT	B	-
	トチカガミ	ヤナギスブタ		●	-	-	-	C	-
		オオウミヒルモ		●	-	-	-	A	-
		ヤマトウミヒルモ		●	-	-	-	A	-
		イトトリゲモ		●	●	-	-	NT	B

表 10.11-8(3) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
被子植物 単子葉植物	トチカガミ	ホッソモ		●	-	-	-	B	-	
		トリゲモ		●	-	-	VU	C	-	
		オオトリゲモ	●		-	-	-	B	-	
		ミズオオバコ		●	-	-	VU	D	-	
	アマモ	エビアマモ			●	-	-	NT	B	-
		タチアマモ			●	-	-	VU	A	-
		コアマモ			●	-	-	-	D	-
		アマモ			●	-	-	-	D	-
	ヒルムシロ	ヤナギモ			●	-	-	-	D	-
		ササバモ	●		●	-	-	-	D	-
	キンコウカ	ソクシンラン			●	-	-	-	C	-
	ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ			●	-	-	-	B	-
	ヤマノイモ	カエデドコロ			●	-	-	-	C	-
	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ			●	-	-	VU	B	-
	シュロソウ	ツクシショウジョウバカマ			●	-	-	-	C	-
		ホソバシュロソウ	●		●	-	-	-	D	-
	ユリ	ヤマユリ	●			-	-	-	-	⑥, ⑦
		スカシユリ			●	-	-	-	D	⑤b, ⑥
		ヤマジノホトトギス			●	-	-	-	B	-
		アマナ			●	-	-	-	D	-
	ラン	シラン			●	-	-	NT	D	②, ⑥, ⑦
		マメツタラン			●	-	-	NT	B	②, ④d, ⑤b
		エビネ	●		●	-	-	NT	D	②, ⑥, ⑦
		ナツエビネ	●		●	-	-	VU	D	②, ⑥, ⑦
		ギンラン	●		●	-	-	-	D	②, ⑥
		キンラン	●		●	-	-	VU	D	②, ⑥
		ササバギンラン			●	-	-	-	D	-
		クゲヌマラン	●		●	-	-	VU	B	-
		サイハイラン			●	-	-	-	D	②, ⑥, ⑦
		シュンラン	●			-	-	-	-	⑥, ⑦
		マヤラン	●		●	-	-	VU	C	②
		サガミラン			●	-	-	-	C	-
		ナギラン	●		●	-	-	VU	C	②, ⑥, ⑦
		クマガイソウ	●		●	-	-	VU	C	②, ⑥, ⑦
		ツチアケビ	●		●	-	-	-	D	-
		セッコク			●	-	-	-	A	②, ④d, ⑤b, ⑥, ⑦
		カキラン			●	-	-	-	B	-
		タシロラン			●	-	-	NT	C	-
		アキザキヤツシロラン			●	-	-	-	C	-
		ナヨテンマ			●	-	-	EN	B	②, ⑥
		クロヤツシロラン			●	-	-	-	C	-
		ベニシユスラン			●	-	-	-	B	②, ⑦
		ハチジョウシユスラン			●	-	-	-	A	-
		アケボノシユスラン			●	-	-	-	C	①c, ②, ⑦
		カゴメラン			●	-	-	-	A	-
		ミヤマウズラ	●			-	-	-	-	②, ⑥, ⑦
		シユスラン			●	-	-	-	D	②, ⑦
ダイサギソウ			●	-	-	EN	A	②, ⑤j, ⑥		

表 10.11-8(4) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
被子植物 単子葉植物	ラン	ムヨウラン		●	-	-	-	B	②	
		クロムヨウラン	●	●	-	-	DD	C	-	
		ギボウシラン		●	-	-	EN	A	-	
		ジガバチソウ		●	-	-	-	A	-	
		クモキリソウ		●	-	-	-	D	②, ⑦	
		コクラン	●		-	-	-	-	②, ⑦	
		フウラン		●	-	-	VU	A	②, ④d, ⑥, ⑦	
		ヒメフタバラン		●	-	-	-	A	①c, ②	
		トンボソウ		●	-	-	-	B	②	
		アワチドリ	●	●	-	-	CR	A	②, ⑤b, ⑥, ⑦	
		カヤラン		●	-	-	-	B	-	
		カゲロウラン	●	●	-	-	NT	A	-	
		アヤメ	ヒオウギ		●	-	-	-	B	-
			カキツバタ		●	-	-	NT	B	-
	アヤメ			●	-	-	-	B	-	
	ヒガンバナ	タマムラサキ		●	-	-	-	B	-	
		ヤマラッキョウ		●	-	-	-	D	-	
		ハマオモト		●	-	-	-	B	①c, ②, ⑤f, ⑥	
	クサスギカズラ	クサスギカズラ		●	-	-	-	B	-	
		キジカクシ		●	-	-	-	B	-	
		ホソバキジカクシ		●	-	-	-	A	-	
		イズイワギボウシ	●	●	-	-	-	A	-	
		オオバギボウシ		●	-	-	-	D	-	
	ガマ	ミクリ		●	-	-	NT	D	-	
	ホシクサ	ヒロハノイヌノヒゲ		●	-	-	-	C	-	
		ホシクサ		●	-	-	-	D	-	
		イトイヌノヒゲ		●	-	-	-	D	-	
		クロホシクサ		●	-	-	VU	B	-	
	イグサ	ヌカボシソウ		●	-	-	-	C	-	
	カヤツリグサ	イセウキヤガラ		●	-	-	-	B	-	
		ハタガヤ		●	-	-	-	D	-	
		ショウジョウスゲ		●	-	-	-	B	-	
		ヒゲスゲ		●	-	-	-	D	-	
		ミヤマシラスゲ		●	-	-	-	C	-	
		ナルコスゲ		●	-	-	-	C	-	
		ツクパスゲ		●	-	-	-	D	-	
		アオヒエスゲ		●	-	-	-	C	-	
		オキナワジュズスゲ		●	-	-	-	D	-	
		サツマスゲ		●	-	-	-	B	-	
		ヤガミスゲ		●	-	-	-	C	-	
		ヌカスゲ		●	-	-	-	C	-	
		ヒメシラスゲ		●	-	-	-	D	-	
		オタルスゲ		●	-	-	-	C	-	
		ヒメゴウソ		●	-	-	-	D	-	
		タカネマスクサ	●	●	-	-	VU	D	-	
		イトアオスゲ		●	-	-	-	C	-	
		コカンスゲ		●	-	-	-	B	-	
ヤブスゲ			●	-	-	-	C	-		
アブラシバ			●	-	-	-	B	-		
シオクグ			●	-	-	-	D	-		
センダイスゲ			●	-	-	-	D	-		

表 10.11-8(5) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
被子植物 単子葉植物	カヤツリグサ	アズマナルコ		●	-	-	-	B	-	
		タガネソウ		●	-	-	-	D	-	
		ヒトモトススキ		●	-	-	-	D	-	
		イスクグ	●	●	-	-	-	D	-	
		キンガヤツリ		●	-	-	-	B	-	
		ムギガラガヤツリ		●	-	-	CR	A	-	
		セイタカハリイ	●	●	-	-	-	D	-	
		コアゼテンツキ		●	-	-	-	B	-	
		ノテンツキ		●	-	-	-	D	-	
		シオカゼテンツキ		●	-	-	-	X	-	
		クグテンツキ	●	●	-	-	-	D	-	
		ナガボテンツキ		●	-	-	-	C	-	
		ヤリテンツキ		●	-	-	NT	X	-	
		ビロードテンツキ		●	-	-	-	C	-	
		イソヤマテンツキ		●	-	-	-	D	-	
		オオフトイ		●	-	-	-	D	-	
	アイバソウ		●	-	-	-	B	-		
	イネ	セトガヤ			●	-	-	-	B	-
		チョウセンガリヤス	●	●	-	-	-	D	-	
		オオギョウギシバ		●	-	-	-	D	-	
		カリマタガヤ		●	-	-	-	D	-	
		ヒメタヌビエ		●	-	-	-	B	-	
		オオニワホコリ		●	-	-	-	D	-	
		ヒメウキガヤ		●	-	-	-	D	-	
		アズマガヤ		●	-	-	-	B	-	
		ハイチゴザサ	●	●	-	-	CR	C	-	
		ミノボロ		●	-	-	-	B	-	
		タチネズミガヤ		●	-	-	-	A	-	
		エダウチチヂミザサ		●	-	-	-	A	-	
		チャボチヂミザサ	●	●	-	-	-	D	-	
		アイアシ		●	-	-	-	D	-	
		アワガエリ		●	-	-	-	B	-	
		ツルヨシ	●	●	-	-	-	C	-	
		セイタカヨシ	●	●	-	-	-	C	-	
		キボウシノ		●	-	-	-	B	-	
		ヨコハマダケ		●	-	-	-	A	-	
シブヤザサ			●	-	-	-	C	-		
イタチガヤ			●	-	-	-	A	-		
ハマヒエガエリ			●	-	-	-	B	-		
イヌアワ		●	●	-	-	-	D	-		
オオアブラススキ	●	●	-	-	-	D	-			
オニシバ		●	-	-	-	D	-			
ナガミノオニシバ		●	-	-	-	B	-			
ケシ	ミヤマキケマン		●	-	-	-	D	-		
キンボウゲ	オオバショウマ		●	-	-	-	B	-		
	クサボタン		●	-	-	-	D	-		
	トリガタハンショウヅル		●	-	-	-	B	②, ⑤c		

表 10.11-8(6) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
被子植物 真正双子葉植物	キンボウゲ	シロバナハンショウヅル		●	-	-	-	B	-	
		コセリバオウレン		●	-	-	-	C	-	
		セリバオウレン		●	-	-	-	B	-	
		トウゴクサバノオ		●	-	-	-	A	②, ⑥, ⑦	
		ヒメキンボウゲ		●	-	-	VU	X	-	
		スハマソウ		●	-	-	-	C	-	
	カツラ	カツラ		●	-	-	-	B	-	
	ユキノシタ	ネコノメソウ			●	-	-	-	D	-
		ムカゴネコノメソウ			●	-	-	NT	C	①b, ②
		イズノシマダイモンジソウ	●	●	-	-	-	D	-	
	ベンケイソウ	ミツバベンケイソウ			●	-	-	-	B	-
		イワレンゲ			●	-	-	VU	X	-
		キリンソウ	●	●	-	-	-	D	-	
	タコノアシ	タコノアシ	●		-	-	NT	-	-	
	アリノトウグサ	フサモ		●	-	-	-	B	-	
	マメ	ホドイモ	●	●	-	-	-	D	-	
		ジャケツイバラ	●	●	-	-	-	D	-	
		ハマナタマメ		●	-	-	-	B	-	
		フジキ		●	-	-	-	B	-	
		タヌキマメ		●	-	-	-	C	-	
		サイカチ		●	-	-	-	D	-	
		オオバヌスビトハギ		●	-	-	-	C	-	
		イヌハギ		●	-	-	VU	C	-	
		マキエハギ		●	-	-	-	D	-	
		イヌエンジュ		●	-	-	-	D	-	
		ミソナオシ		●	-	-	-	B	-	
	ヒメハギ	ヒナノキンチャク		●	-	-	EN	B	-	
	ニレ	ハルニレ		●	-	-	-	B	-	
	クワ	ヒメイタビ	●	●	-	-	-	D	-	
	イラクサ	ハマヤブマオ		●	-	-	-	C	-	
		シマナガバヤブマオ	●	●	-	-	-	B	-	
		キミズ		●	-	-	-	C	-	
		ヤマミズ	●	●	-	-	-	D	-	
		ツルマオ		●	-	-	-	A	-	
	バラ	ヤマブキショウマ		●	-	-	-	A	-	
		カスミザクラ	●	●	-	-	-	D	-	
		コダイコンソウ		●	-	-	-	B	-	
		リンボク		●	-	-	-	D	-	
		カワラサイコ		●	-	-	-	B	-	
		ヒロハノカワラサイコ		●	-	-	VU	D	-	
		ミヤマフユイチゴ		●	-	-	-	D	-	
		バライチゴ		●	-	-	-	A	-	
		ヒメバライチゴ		●	-	-	-	D	-	
		エビガライチゴ	●	●	-	-	-	D	-	
		ナンキンナナカマド		●	-	-	-	A	-	
	ブナ	ナラガシワ		●	-	-	-	B	-	
		カシワ		●	-	-	-	C	-	
		イチイガシ		●	-	-	-	B	-	

表 10.11-8(7) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
被子植物 真正双子葉植物	ブナ	ウバメガシ		●	-	-	-	B	-	
		ツクバネガシ		●	-	-	-	C	-	
	クルミ	オニグルミ		●	-	-	-	D	-	
		サワグルミ		●	-	-	-	B	-	
	カバノキ	ヤマハンノキ			●	-	-	-	D	-
		アカシデ	●		●	-	-	-	D	-
		アサダ			●	-	-	-	B	-
	ウリ	ゴキツル			●	-	-	-	D	-
	ニシキギ	オニツルウメモドキ			●	-	-	-	B	-
		オオツルウメモドキ			●	-	-	-	B	-
		サワダツ			●	-	-	-	B	-
		モクレイシ			●	-	-	-	C	-
	カタバミ	エゾタチカタバミ			●	-	-	-	D	-
	トウダイグサ	ノウルシ			●	-	-	NT	C	-
		イワタイゲキ			●	-	-	-	B	-
	ヤナギ	イイギリ	●		●	-	-	-	D	-
		バッコヤナギ			●	-	-	-	D	-
		コゴメヤナギ			●	-	-	-	B	-
		キヌヤナギ			●	-	-	-	B	-
		オノエヤナギ			●	-	-	-	D	-
	スマレ	アツバスマレ			●	-	-	-	C	-
		コミヤマスマレ			●	-	-	-	B	①c, ②
		フモトスマレ	●		●	-	-	-	C	-
	オトギリソウ	トモエソウ			●	-	-	-	D	-
		ミヤコオトギリ			●	-	-	-	A	-
	ミソハギ	ミズマツバ			●	-	-	VU	C	-
		ヒメビシ			●	-	-	VU	B	-
	アカバナ	ムクゲアカバナ	●			-	-	-	B	-
		ウスゲチョウジタデ	●			-	-	NT	-	-
		ミズキンバイ			●	-	-	VU	C	-
	ムクロジ	チドリノキ			●	-	-	-	C	-
	ミカン	キハダ			●	-	-	-	B	-
		フユザンショウ			●	-	-	-	C	-
	アオイ	ハマボウ			●	-	-	-	B	-
		シナノキ			●	-	-	-	C	-
	ジンチョウゲ	コショウノキ			●	-	-	-	B	-
		コガンピ			●	-	-	-	C	-
	アブラナ	シコクハタザオ			●	-	-	-	B	-
		ハマハタザオ			●	-	-	-	C	-
		マルバコンロンソウ			●	-	-	-	C	-
		ユリワサビ			●	-	-	-	B	-
	ビャクダン	ツクバネ			●	-	-	-	B	-
		ヤドリギ			●	-	-	-	C	-
	オオバヤドリギ	マツグミ			●	-	-	-	B	-
		オオバヤドリギ			●	-	-	-	B	-
	タデ	ヤナギヌカボ	●			-	-	VU	-	-
		タニソバ			●	-	-	-	B	-
ホソバノウナギツカミ				●	-	-	-	B	-	

表 10.11-8(8) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
被子植物 真正双子葉植物	タデ	ミチヤナギ		●	-	-	-	B	-	
		アキノミチヤナギ		●	-	-	-	C	-	
	モウセンゴケ	モウセンゴケ		●	-	-	-	D	②, ④b, ⑤j, ⑥, ⑦	
	ナデシコ	ハマナデシコ			●	-	-	-	D	⑤f, ⑥
		ナンバンハコベ			●	-	-	-	B	-
		フシグロ			●	-	-	-	B	-
		フシグロセンノウ			●	-	-	-	C	-
		サワハコベ	●		●	-	-	-	D	-
	ヒユ	ホソバハマアカザ			●	-	-	-	C	-
		マルバアカザ			●	-	-	-	C	-
		カワラアカザ			●	-	-	-	A	-
	ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ			●	-	-	-	B	-
	ミズキ	ウリノキ			●	-	-	-	D	-
	アジサイ	ノリウツギ			●	-	-	-	B	-
		イワガラミ	●		●	-	-	-	C	-
	ツリフネソウ	キツリフネ			●	-	-	-	C	-
	サクラソウ	オオバマンリョウ	●		●	-	-	-	D	-
		オオツルクウジ			●	-	-	EN	C	-
	リョウブ	リョウブ	●		●	-	-	-	D	-
	ツツジ	ウメガサソウ			●	-	-	-	D	-
		ヒロハドウダンツツジ			●	-	-	-	B	-
		ギンリョウソウ			●	-	-	-	B	-
		ミツバツツジ	●		●	-	-	-	D	②, ⑥, ⑦
		ヒカゲツツジ	●		●	-	-	-	B	②, ⑤b, ⑥, ⑦
		キヨスミミツバツツジ			●	-	-	-	C	②, ⑥, ⑦
	アカネ	ヤブムグラ			●	-	-	VU	C	-
		カワラマツバ			●	-	-	-	B	-
		ツルアリドオシ	●			-	-	-	-	①c, ②
		ソナレムグラ			●	-	-	-	C	-
		カギカズラ			●	-	-	-	B	-
	リンドウ	リンドウ	●			-	-	-	-	⑥, ⑦
		アケボノソウ			●	-	-	-	C	-
		ツルリンドウ			●	-	-	-	C	-
	マチン	ホウライカズラ			●	-	-	CR	D	-
	キョウチクトウ	サカキカズラ	●		●	-	-	-	D	-
		コイケマ			●	-	-	-	B	-
		シタキシソウ	●		●	-	-	-	C	-
		コカモメヅル			●	-	-	-	A	-
		イヨカズラ	●		●	-	-	-	D	-
		クサナギオゴケ			●	-	-	VU	C	-
		スズサイコ			●	-	-	NT	D	-
	ヒルガオ	マメダオシ			●	-	-	CR	A	-
		ネナシカズラ			●	-	-	-	C	-
		アオイゴケ			●	-	-	-	B	-
	ナス	ヤマホオズキ			●	-	-	EN	A	-
		メジロホオズキ	●		●	-	-	-	A	-
		イガホオズキ			●	-	-	-	D	-
ヤマホロシ				●	-	-	-	B	-	

表 10.11-8(9) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況				
					①	②	③	④	⑤
被子植物 真正双子葉植物	ムラサキ	スナビキソウ		●	-	-	-	C	-
		ムラサキ		●	-	-	EN	X	②, ⑦
	モクセイ	トネリコ		●	-	-	-	B	-
	イワタバコ	イワタバコ		●	-	-	-	A	②, ⑤b, ⑥, ⑦
		ケイワタバコ		●	-	-	-	D	-
	オオバコ	ミズハコベ	●	●	-	-	-	C	-
		サワトウガラシ		●	-	-	-	C	-
		アブノメ		●	-	-	-	D	-
		トウオオバコ	●	●	-	-	-	D	-
	ゴマノハグサ	イヌノフグリ		●	-	-	VU	D	-
		フジツツギ		●	-	-	-	B	-
		オオヒナノウスツボ		●	-	-	-	B	-
	シソ	コムラサキ		●	-	-	-	C	-
		ジャコウソウ		●	-	-	-	C	-
		シマクサギ		●	-	-	-	A	-
		クルマバナ	●	●	-	-	-	D	-
		ヤマトウバナ		●	-	-	-	B	-
		テンニンソウ		●	-	-	-	C	-
		フトボナギナタコウジュ		●	-	-	-	B	-
		ヒキオコシ		●	-	-	-	B	-
		キセワタ		●	-	-	VU	C	-
		ヤマタツナミソウ		●	-	-	-	C	-
		カリガネソウ	●	●	-	-	-	C	-
	ハエドクソウ	ミゾホオズキ		●	-	-	-	C	-
	ハマウツボ	ハマウツボ		●	-	-	VU	A	②, ⑤f
		ハンカイシオガマ		●	-	-	-	B	①b, ②
		シオガマギク		●	-	-	-	B	-
	タヌキモ	イスタヌキモ		●	-	-	NT	B	-
		タヌキモ		●	-	-	NT	C	-
	キツネノマゴ	ハグロソウ		●	-	-	-	A	-
	モチノキ	ウメモドキ		●	-	-	-	C	-
	キキョウ	マルバノハマシヤジン		●	-	-	-	B	-
		ヤマホタルブクロ	●	●	-	-	-	-	⑤d, ⑥
		バアソブ		●	-	-	VU	B	-
		タニギキョウ	●	●	-	-	-	-	②
		キキョウ		●	-	-	VU	B	②, ⑥, ⑦
	キク	ヒナギキョウ		●	-	-	-	B	-
		ノコギリソウ		●	-	-	-	D	-
		ノブキ		●	-	-	-	D	-
		ヌマダイコン		●	-	-	-	D	-
		オカダイコン	●	●	-	-	-	B	-
		ヤマハハコ		●	-	-	-	B	-
		カワラヨモギ		●	-	-	-	B	-
		カワラニンジン		●	-	-	-	D	-
		イヌヨモギ	●	●	-	-	-	B	-
		センダングサ		●	-	-	-	D	-
		イソギク	●	●	-	-	-	-	⑤b, ⑥
アワコガネギク			●	-	-	NT	B	-	

表 10.11-8(10) 重要な維管束植物

分類	科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況					
					①	②	③	④	⑤	
被子植物 真正双子葉植物	キク	タカアザミ		●	-	-	-	D	-	
		ワダン		●	-	-	-	D	-	
		イズハハコ		●	-	-	VU	A	-	
		ハマサワヒヨドリ		●	-	-	VU	B	-	
		フジバカマ		●	-	-	NT	C	-	
		オグルマ		●	-	-	-	D	-	
		サクラオグルマ		●	-	-	-	RH	-	
		ホソバオグルマ		●	-	-	VU	D	-	
		カセンソウ		●	-	-	-	D	-	
		ハマニガナ		●	-	-	-	D	-	
		オオニガナ		●	-	-	-	C	②, ⑤j, ⑥	
		サワギク		●	-	-	-	A	-	
		アキノハハコグサ		●	-	-	EN	B	-	
		キクアザミ		●	-	-	-	C	②, ⑥	
		ハマアキノキリンソウ		●	-	-	-	B	-	
		クマノギク		●	-	-	-	D	-	
		オヤマボクチ		●	-	-	-	B	-	
		オカオグルマ		●	-	-	-	C	-	
		サワオグルマ		●	-	-	-	D	-	
		オナモミ		●	-	-	VU	A	-	
	ウコギ	ミヤマチドメ	●	●	-	-	-	B	-	
		トチバニンジン		●	-	-	-	D	-	
	セリ	シャク		●	-	-	-	C	-	
		ミシマサイコ		●	-	-	VU	C	②, ⑥, ⑦	
		ホタルサイコ		●	-	-	-	B	-	
		セリモドキ		●	-	-	-	D	-	
		ハマボウフウ		●	-	-	-	D	-	
		イブキボウフウ		●	-	-	-	D	-	
	ガマズミ	ミヤマガマズミ		●	-	-	-	B	-	
	スイカズラ	オオツクバネウツギ		●	-	-	-	A	-	
		ナベナ		●	-	-	-	A	-	
		ミヤマウグイスカグラ		●	-	-	-	A	-	
		キンギンボク		●	-	-	-	A	-	
		アシタカマツムシソウ		●	-	-	-	C	-	
	-	112科	466種	89種	449種	0種	0種	74種	449種	56種

注1) 種名、配列等は、主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(2022年11月7日公開版)に準拠した。

注2) 重要種の選定基準

- ① 「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号)  
「千葉県文化財保護条例」(昭和30年3月29日 条例第8号)  
「各市の文化財保護条例」(表10.11-2参照)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号)  
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリストの公表について」(令和2年3月27日 環境省報道発表資料)  
絶滅危惧I類(CR+EN) 絶滅危惧IA類(CR) 絶滅危惧IB類(EN) 絶滅危惧II類(VU) 準絶滅危惧(NT)  
情報不足(DD) 地域個体群(LP)
- ④ 「千葉県レッドデータブック植物・菌類編2023改訂版」(令和5年7月 千葉県環境生活部自然保護課)  
最重要保護生物(A) 重要保護生物(B) 最重要・重要保護生物(A-B) 要保護生物(C) 一般保護生物(D)  
保護参考種(RH)
- ⑤ 「南房総国定公園の指定植物」(平成19年8月3日 環境省)

注3) ユノミネシダは、房総半島での生育が最近確認されるようになった種であり、学識経験者の指摘を受けて重要種に相当する種として扱うこととした。

b) 藻類

(a) 藻類の状況

現地調査において 20 科 101 種の藻類を確認しました。

現地調査結果の概要を表 10.11-9 に示します。

表 10.11-9 藻類の現地確認状況

調査時期	確認種数	主な確認種
夏季	14科63種	<i>Nitzschia inconspicua</i> , <i>Nitzschia palea</i> , <i>Navicula gregaria</i> , <i>Navicula yuraensis</i> , <i>Cocconeis placentula</i> , <i>Nitzschia amphibia</i> , <i>Melosira varians</i> , <i>Gomphonema parvulum</i> , <i>Navicula cryptotenella</i> など
秋季	13科68種	<i>Nitzschia inconspicua</i> , <i>Navicula minima</i> , <i>Navicula yuraensis</i> , <i>Homoeothrix janthina</i> , <i>Gomphonema parvulum</i> , <i>Melosira varians</i> , <i>Cymbella turgidula</i> , <i>Amphora pediculus</i> , <i>Nitzschia dissipata</i> など
早春季	12科55種	<i>Homoeothrix jahina</i> , <i>Rhoicosphenia abbreviate</i> , <i>Planothidium lanceolatum</i> , <i>Nitzschia amphibia</i> , <i>Nitzschia</i> spp., <i>Cocconeis pediculus</i> , <i>Cocconeis placentula</i> , <i>Nitzschia fonticola</i> など
春季	9科57種	<i>Melosira varians</i> , <i>Ulnaria ulna</i> , <i>Amphora pediculus</i> , <i>Gomphonema parvulum</i> , <i>Navicula gregaria</i> , <i>Navicula minima</i> , <i>Navicula tripunctata</i> , <i>Rhoicosphenia abbreviate</i> など
合計	20 科 101 種	-

(b) 重要な藻類

現地調査により確認された重要な藻類は 1 科 1 種でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物種とその選定理由を表 10.11-10 に示します。

表 10.11-10 重要な藻類

科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	重要種の選定基準				
				①	②	③	④	⑤
クダネダシグサ	キッコウグサ		●	—	—	—	A	—
シャジクモ	シャジクモ		●	—	—	VU	B	—
	カタシャジクモ		●	—	—	CR+EN	A	—
レソソニア	アントクメ		●	—	—	—	A	—
ウシケノリ	フノリノウシゲ		●	—	—	—	A	—
ベニマダラ	タンスイベニマダラ	●		—	—	NT	A	—
コナハダ	コナハダ		●	—	—	—	X	—
	ヨゴレコナハダ		●	—	—	—	X	—
オキツノリ	サイミ		●	—	—	—	A	—
ユカリ	マキユカリ		●	—	—	—	B	—
コノハノリ	ホソアヤギヌ		●	—	—	NT	C	—
9科	11種	1種	10種	0種	0種	4種	11種	0種

注 1) 分類、配列などは基本的に「日本の海藻」(2017 北山太樹)に準拠した。

注 2) 重要種の選定基準

- ① 「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号)  
「千葉県文化財保護条例」(昭和 30 年 3 月 29 日 条例第 8 号)  
「各市の文化財保護条例」(表 10.11-2 参照)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号)  
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリストの公表について」(令和 2 年 3 月 27 日 環境省報道発表資料)  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN) 絶滅危惧 I A 類 (CR) 絶滅危惧 I B 類 (EN) 絶滅危惧 II 類 (VU) 準絶滅危惧 (NT)  
情報不足 (DD) 地域個体群 (LP)
- ④ 「千葉県レッドデータブック植物・菌類編 2023 改訂版」(令和 5 年 7 月 千葉県環境生活部自然保護課)  
最重要保護生物 (A) 重要保護生物 (B) 最重要・重要保護生物 (A-B) 要保護生物 (C) 一般保護生物 (D)  
保護参考雑種 (RH)
- ⑤ 「南房総国立公園の指定植物」(平成 19 年 8 月 3 日 環境省)

c) 蘚苔類

(a) 蘚苔類の状況

現地調査において 58 科 177 種の蘚苔類を確認しました。

現地調査結果の概要を表 10. 11-11 に示します。

表 10. 11-11 蘚苔類の現地確認状況

調査時期	確認種数	主な確認種
早春季	36科67種	ウロコゴケ、キブリナギゴケ、クモノスゴケ、ヤマトヨウジョウゴケ、チヂレゴケ、コツボゴケ、ジャゴケ、ツクシウロコゴケ、コバノチョウチンゴケ、ハネヒツジゴケ、ヒメナギゴケ、オオサナダゴケモドキ など
春季	40科86種	ヒメナギゴケ、アズマゼニゴケ、ウロコゴケ、ヒツジゴケ、キブリナギゴケ、ジャゴケ、アブラゴケ、ナガヒツジゴケ、オオトラノオゴケ、ケゼニゴケ、フタバネゼニゴケ、ホソバミズゼニゴケ、クシノハスジゴケ など
夏季	44科99種	アカスジゴケ、ジャゴケ、ヒメジャゴケ、ケゼニゴケ、ムツコネジレゴケ、ギンゴケ、オオバチョウチンゴケ、ジンガサゴケ、ヒメトサカゴケ など
秋季	40科88種	イチョウウキゴケ、ゼニゴケ、コハタケダケ、ウキゴケ属の一種、ヒロクチゴケ、ヒメイサワゴケ、イシノウエノコゴケ、ホソウリゴケ、ヒメシノブゴケ、ノコギリゴケ、キャラハゴケ など
合計	58 科 177 種	-

(b) 重要な蘚苔類

現地調査により確認された重要な蘚苔類は9科10種でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物種とその選定理由を表10.11-12に示します。

表 10.11-12 重要な蘚苔類

科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	指定状況				
				①	②	③	④	⑤
ゼニゴケ	ヒトデゼニゴケ	●	●	—	—	—	D	—
ジンガサゴケ	アツバサイハイゴケ		●	—	—	—	A	—
	ヒナゼニゴケ	●	●	—	—	—	A	—
ウキゴケ	イチョウウキゴケ	●	●	—	—	NT	D	—
クモノスゴケ	ニセヤハズゴケ		●	—	—	—	D	—
クサリゴケ	チャボクサリゴケ		●	—	—	—	B	—
	ナガンタバヨウジョウゴケ		●	—	—	—	D	—
	ヨウジョウゴケ		●	—	—	NT	A	—
	カビゴケ	●		—	—	NT	—	—
ソコマメゴケ	ヤマトソコマメゴケ		●	—	—	—	B	—
ミズゴケ	オオミズゴケ (ミズゴケ)		●	—	—	NT	EW	—
スギゴケ	ウマスギゴケ		●	—	—	—	D	—
ホウオウゴケ	イリオモテホウオウゴケ		●	—	—	—	B	—
	ジョウレンホウオウゴケ		●	—	—	VU	C	—
	オーストラリアイボホウオウゴケ		●	—	—	—	A	—
シッポゴケ	イクタマユハケゴケ	●	●	—	—	—	B	—
カタシロゴケ	ヒメイサワゴケ	●	●	—	—	—	B	—
	カタシロゴケ		●	—	—	—	B	—
センボンゴケ	ダندانゴケ		●	—	—	VU	D	—
	フガゴケ		●	—	—	VU	A	—
	オオハナシゴケ		●	—	—	—	D	—
	ソリハホソコゴケ		●	—	—	—	B	—
	クチヒゲゴケ		●	—	—	—	B	—
	ムツコネジレゴケ	●	●	—	—	—	C	—
アオギヌゴケ	アツブサゴケ	●		—	—	—	X	—
	キブリナギゴケ	●		—	—	—	B	—
ハイゴケ	シワラッコゴケ		●	—	—	—	B	—
ヒラゴケ	スズゴケ		●	—	—	—	A	—
	コメリンスゴケ		●	—	—	—	X	—
キヌイトゴケ	アオイトゴケ	●		—	—	—	B	—
ツノゴケ	ミヤベツノゴケ		●	—	—	—	D	—
ツノゴケモドキ	コニワツノゴケ		●	—	—	—	D	—
18科	32種	10種	28種	0種	0種	7種	31種	0種

注1) 分類、配列などは基本的に「コケ植物の新しい分類体系」(2012 広島大学)に準拠した。

注2) 重要種の選定基準

- ① 「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号)  
「千葉県文化財保護条例」(昭和30年3月29日 条例第8号)  
「各市の文化財保護条例」(表10.11-2 参照)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号)  
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリストの公表について」(令和2年3月27日 環境省報道発表資料)

絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN) 絶滅危惧ⅠA類 (CR) 絶滅危惧ⅠB類 (EN) 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 準絶滅危惧 (NT)  
情報不足 (DD) 地域個体群 (LP)

- ④ 「千葉県レッドデータブック植物・菌類編 2023 改訂版」(令和5年7月 千葉県環境生活部自然保護課)  
最重要保護生物 (A) 重要保護生物 (B) 最重要・重要保護生物 (A-B) 要保護生物 (C) 一般保護生物 (D)  
保護参考雑種 (RH)
- ⑤ 「南房総国定公園の指定植物」(平成19年8月3日 環境省)

d) 地衣類

(a) 地衣類の状況

現地調査において 13 科 38 種の地衣類を確認しました。

現地調査結果の概要を表 10. 11-13 に示します。

表 10. 11-13 地衣類の現地確認状況

調査時期	確認種数	主な確認種
夏季	4科20種	ナミガタウメノキゴケ、ウメノキゴケ、マツゲゴケ、コフキヂリナリア、コナヒメウメノキゴケ、ヘリトリゴケ、ヒカゲウチキウメノキゴケ、トゲウメノキゴケ など
秋季	5科24種	キウメノキゴケ、トゲウメノキゴケ、コナアカハラムカデゴケ、オオマツゲゴケ、コガネゴケ、コナヒメウメノキゴケ、マツゲゴケ、コフキカラタチゴケ、クロウラムカデゴケ、フトネゴケ など
早春季	6科14種	マツゲゴケ、トゲウメノキゴケ、ナミガタウメノキゴケ、ウメノキゴケ、コフキヂリナリア、ホソモジゴケ、カシゴケ、ヘリトリゴケ、ヒメジョウゴケ、ホソヤグラゴケ、マキバハナゴケ など
春季	12科24種	マツゲゴケ、コフキヂリナリア、ウメノキゴケ、ナミガタウメノキゴケ、ツブダイダイゴケ、カシゴケ、ダイダイサラゴケ、ヘリトリゴケ、ヒメジョウゴケ、ヒカゲウチキウメノキゴケ、トゲウメノキゴケ、コガネゴケ、オオコゲボシゴケ など
合計	13 科 38 種	-

## (b) 重要な地衣類

現地調査により確認された重要な地衣類は 2 科 7 種でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物種とその選定理由を表 10. 11-14 に示します。

表 10. 11-14(1) 重要な地衣類

科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	重要種の選定基準				
				①	②	③	④	⑤
リトマスゴケ	ヒメカシゴケ		●	—	—	—	C	—
	ヘリプトゴケ		●	—	—	—	B	—
マメゴケ	マメゴケ		●	—	—	—	C	—
ハナゴケ	マタゴケ		●	—	—	—	A	—
	ササクレマタゴケ		●	—	—	—	D	—
チャシブゴケ	キクバチャシブゴケ		●	—	—	—	B	—
ウメノキゴケ	フトネゴケ	●	●	—	—	—	D	—
	オオチヂレマツゲゴケ		●	—	—	—	D	—
	ハイイロウメノキゴケ属	●	●	—	—	—	D	—
	トゲトコブシゴケ		●	—	—	—	D	—
	タカハシゴンゲンゴケ		●	—	—	—	D	—
	センシゴケ	●	●	—	—	—	D	—
	コナウチキウメノキゴケ		●	—	—	—	C	—
	ハヤチネウメノキゴケ		●	—	—	—	D	—
	ウチキウメノキゴケ		●	—	—	—	D	—
	コフキチヨロギウメノキゴケ		●	—	—	—	C	—
	ヤスダゴケ	●	●	—	—	—	D	—
	チヂレマツゲゴケまたはウラグロマツゲゴケ*	●	●	—	—	—	D, A	—
	クズレマツゲゴケ		●	—	—	—	D	—
	サルオガセ属		●	—	—	—	B	—
	アカサルオガセ		●	—	—	—	D	—
キクバゴケ属	●	●	—	—	—	B	—	
カラタチゴケ	ハマカラタチゴケ		●	—	—	—	B	—
カイガラゴケ	ヒメカイガラゴケ		●	—	—	—	B	—
ワタヘリゴケ	ワタヘリゴケ		●	—	—	—	B	—
ムカデゴケ	トゲヒメゲジゲジゴケ		●	—	—	—	B	—
	オオゲジゲジゴケ		●	—	—	—	A	—
	チヂレウラジロゲジゲジゴケ		●	—	—	—	B	—
	コフキゲジゲジゴケ		●	—	—	—	C	—
	シمامカデゴケ		●	—	—	—	A	—
イワノリ	ヤマトカワホリゴケ		●	—	—	—	X	—
	イズカワホリゴケ		●	—	—	—	D	—
	アオキノリ		●	—	—	—	D	—
	トゲアオカワキノリ		●	—	—	—	A	—
	コナアオキノリ		●	—	—	—	C	—
カワラゴケ	コナカワラゴケ	●	●	—	—	—	B	—
カプトゴケ	キンブチゴケ		●	—	—	—	B	—
ツメゴケ	コフキツメゴケ		●	—	—	—	D	—

表 10.11-14(2) 重要な地衣類

科名	種名	現地調査 確認	既存資料 確認	重要種の選定基準				
				①	②	③	④	⑤
モジゴケ	スゲガサゴケ		●	—	—	—	D	—
	ナマリモジゴケ		●	—	—	—	C	—
	テロトレマ グロツソマルギナートゥム		●	—	—	—	D	—
ダイダイサラゴケ	ウスチャサラゴケ		●	—	—	—	C	—
サラゴケ	ジンムジサラゴケ		●	—	—	—	B	—
チャヘリトリゴケ	アオチャゴケ		●	—	—	DD	D	—
ツブノリ	コバノヤスデゴケモドキ		●	—	—	—	X	—
アナイボゴケ	ヤマトムキミゴケ		●	—	—	—	C	—
イチジクゴケ	イチジクゴケ		●	—	—	—	B	—
20科	47種	7種	47種	0種	0種	1種	47種	0種

※ チヂレマツゲゴケまたはウラグロマツゲゴケ：いずれの種であるか識別に至っていないが、いずれの種も千葉県レッドデータブックの選定種に該当します。

注1) 種名、配列等は、主に以下の文献に従った。

- ・「日本産地衣類および関連菌類のチェックリスト」(Lichenology 2(2) 2004:47-165 原田浩・岡本達哉・吉村庸)
- ・「日本産地衣類の分類体系」(Lichenology 5(2) 2006:95-110 吉村庸・原田浩・岡本達哉・松本達雄・宮脇博巳・高橋奏恵)

注2) 重要種の選定基準

- ① 「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号)  
「千葉県文化財保護条例」(昭和30年3月29日 条例第8号)  
「各市の文化財保護条例」(表10.11-2参照)
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号)  
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリストの公表について」(令和2年3月27日 環境省報道発表資料)  
絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN) 絶滅危惧ⅠA類(CR) 絶滅危惧ⅠB類(EN) 絶滅危惧Ⅱ類(VU) 準絶滅危惧(NT)  
情報不足(DD) 地域個体群(LP)
- ④ 「千葉県レッドデータブック植物・菌類編2023改訂版」(令和5年7月 千葉県環境生活部自然保護課)  
最重要保護生物(A) 重要保護生物(B) 最重要・重要保護生物(A-B) 要保護生物(C) 一般保護生物(D)  
保護参考雑種(RH)
- ⑤ 「南房総国立公園の指定植物」(平成19年8月3日 環境省)

e) 大型菌類（きのこ類）

(a) 大型菌類（きのこ類）の状況

現地調査において 98 科 374 種の大型菌類（きのこ類）を確認しました。

現地調査結果の概要を表 10. 11-15 に示します。

表 10. 11-15 大型菌類（きのこ類）の現地確認状況

調査時期	確認種数	主な確認種
夏季	77科239種	オロシタケ、ウスキイロカワタケ、スジウチワタケモドキ、モミジウロコタケ、クロコブタケ、コキララタケ、スエヒロタケ、アラゲキタケ、ワヒダタケ、ネンドタケ、ハカワラタケ、センベイタケ、オオミノコフキタケ、ウチワタケ、ウズラタケ など
秋季	76科259種	クリイロカラカサタケ、オロシタケ、ネンドタケ、センベイタケ、カワラタケ、モミジウロコタケ、ニセキンカクアカビョウタケ、ベニチャワソウタケモドキ、クロコブタケ、シジミタケ、アラゲキタケ など
早春季	31科94種	スエヒロタケ、キクラゲ、ヒメキクラゲ、タマキクラゲ、オロシタケ、ワヒダタケ、ハカワラタケ、シクイタケ、ニクウスバタケ、コフキサルノコシカケ、ウチワタケ、アラゲカワラタケ、チャウロコタケ、モミジウロコダケ、クロコブダケ、オオミコブダケ など
春季	37科106種	スエヒロタケ、ヒメキクラゲ、ケシワウロコタケ、ワヒダタケ、ネンドタケ、シクイタケ、コフキサルノコシカケ、アミスギタケ、ウチワタケ、ヒイロタケ、クジラタケ、カワラタケ、チャウロコタケ など
合計	98 科 374 種	-

(b) 重要な大型菌類（きのこ類）

現地調査により確認された重要な大型菌類（きのこ類）は 2 科 2 種でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物種とその選定理由を表 10.11-16 に示します。

表 10.11-16 重要な大型菌類（きのこ類）

科名	種名	現地調査 確認	文献調査 確認	選定基準				
				①	②	③	④	⑤
マユハキタケ	マユハキタケ	●		—	—	—	B	—
ピロネマ	スナヤマチャワンタケ		●	—	—	—	B	—
セイヨウショウロ	イボセイヨウショウロ		●	—	—	—	B	—
ハラタケ	ハマバダンゴタケ		●	—	—	DD	C	—
	ナガエノホコリタケ		●	—	—	DD	C	—
	ウネミケシボウズタケ		●	—	—	DD	C	—
テングタケ	シロテングタケ		●	—	—	—	D	—
	ウスキテングタケ		●	—	—	—	D	—
オオモミタケ	モミタケ		●	—	—	—	B	—
クヌギタケ	ヤコウタケ		●	—	—	—	C	—
	アミヒカリタケ	●	●	—	—	—	B	—
ナヨタケ	スナジクズタケ		●	—	—	—	C	—
キシメジ	バカマツタケ		●	—	—	NT	D	—
イグチ	オオヤシャイグチ		●	—	—	—	C	—
スッポンタケ	コナガエノアカカゴタケ		●	—	—	VU	B	—
ベニタケ	ルリハツタケ		●	—	—	—	C	—
12科	16種	2種	15種	0種	0種	5種	16種	0種

注 1) 種名、配列等は、主に「日本産きのこ目録 2020」（2019 年 12 月 12 日 幸徳信也）に準拠した。

注 2) 重要種の選定基準

- ① 「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号）  
「千葉県文化財保護条例」（昭和 30 年 3 月 29 日 条例第 8 号）  
「各市の文化財保護条例」（表 10.11-2 参照）
- ② 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号）  
国内：国内希少野生動植物種 国際：国際希少野生動植物種
- ③ 「環境省レッドリストの公表について」（令和 2 年 3 月 27 日 環境省報道発表資料）  
絶滅危惧 I 類 (CR+EN) 絶滅危惧 I A 類 (CR) 絶滅危惧 I B 類 (EN) 絶滅危惧 II 類 (VU) 準絶滅危惧 (NT)  
情報不足 (DD) 地域個体群 (LP)
- ④ 「千葉県レッドデータブック植物・菌類編 2023 改訂版」（令和 5 年 7 月 千葉県環境生活部自然保護課）  
最重要保護生物 (A) 重要保護生物 (B) 最重要・重要保護生物 (A-B) 要保護生物 (C) 一般保護生物 (D)  
保護参考雑種 (RH)
- ⑤ 「南房総国定公園の指定植物」（平成 19 年 8 月 3 日 環境省）

f) 植物群落

(a) 植生の状況

調査地域の植生は、植物群落が 22 区分、土地利用等が 12 区分、合計 34 区分に大別されます。調査範囲は千葉県南部房総半島の内房に位置し、気候は表日本気候域の関東気候区で、植生帯はヤブツバキクラス域に属します。北側半分には、主に小起伏山地、一部に中起伏山地が分布し、南側中央寄りには、富津館山道路の東側に山地、海に近い西側には低地が分布しています。また、南端一帯は丘陵地となっており、谷内は台地（段丘）が分布しています。山地や丘陵地の大部分は樹林環境となっており、低地には耕作地や緑の多い住宅地、市街地が分布しています。

調査地域内の大部分を占める樹林環境は、シイ・カシ二次林が最も広く見られ、スギ・ヒノキ植林、マテバシイ植林が次いで広く見られます。また、低地は、耕作地と市街地により占められており、水田、果樹園、畑、耕作放棄地が分布しています。さらに低地では、緑の多い住宅地、人工構造物、人工草地、人工裸地、グラウンド、ゴルフ場等、人為的な影響が強い群落が見られます。この他、河川沿いに小面積ながら見られる水域環境には、ヨシ群落やオギ群落、メダケ群落、開放水域が分布しています。

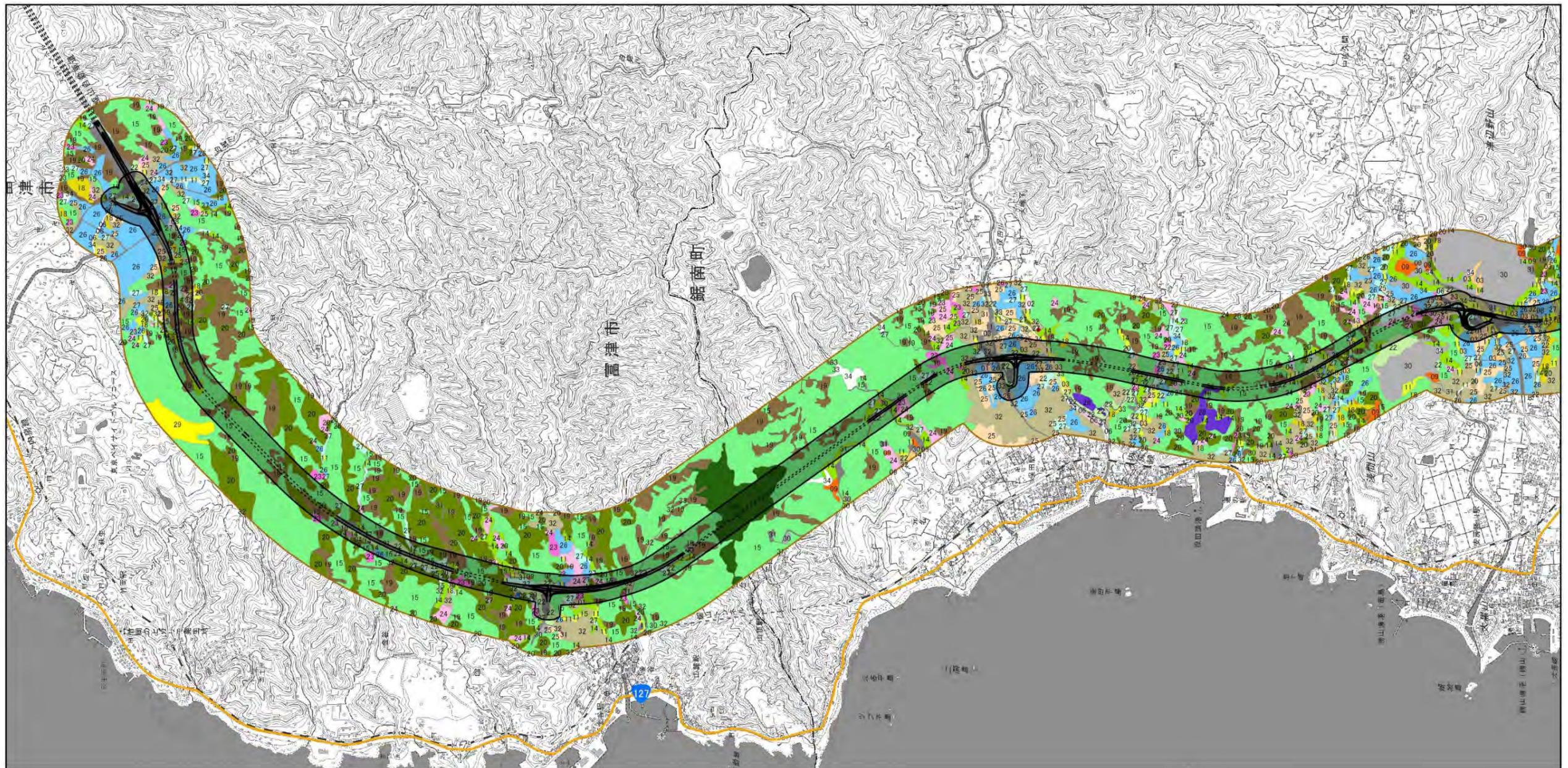
現地調査において確認した植物群落の概要を表 10.11-17 に、現地調査より作成した現存植生図を図 10.11.1-2 に示します。なお、既存資料調査結果の概要を、「第 4 章 4.1.5 動植物の生息または生育、植生及び生態系の状況 2) 植物の状況 (2) 植生の状況」に示します。

表 10.11-17(1) 植物群落の概要

分類	区分名	概要
一年生草本群落	メヒシバーエノコログサ群落	メヒシバまたはエノコログサ類が優占する群落で休耕田で確認
	ヒメムカシヨモギ群落	ヒメムカシヨモギが優占する群落で休耕田で確認
多年生広葉草本群落	セイタカアワダチソウ群落	セイタカアワダチソウが優占する群落で空地や休耕田で確認
	チカラシバ群落（カゼクサーオオバコ群集）	チカラシバが優占する群落で休耕田や空地で確認
単子葉草本群落（ヨシ群落）	ヨシ群落	ヨシが優占する群落で湿った休耕田などで確認
単子葉草本群落（ツルヨシ群落）	ツルヨシ群落	ツルヨシが優占する群落で一部の河川で確認
単子葉草本群落（オギ群落）	オギ群落	オギが優占する群落で湿り気のある休耕田などで確認
単子葉草本群落（その他の単子葉草本群落）	ガマ群落	ガマが優占する群落で一部の池や湿地の水際で確認
	ススキ群落	ススキが優占する群落で日当たりの斜面などで確認
	チガヤ群落	チガヤが優占する群落で空地などで確認
その他の低木林	メダケ群落	メダケが優占する群落で斜面下部、堤防、放棄地などで多い
	ウツギ群落	ウツギが優占する群落で空地などで確認

表 10.11-17(2) 植物群落の概要

分類	区分名	概要
落葉広葉樹林	ハンノキ群落	ハンノキが優占する群落で湿地で確認
	アカメガシワ群落 (ヌルデ・アカメガシワ群落)	斜面、崩壊地、伐採跡などにある主に低木林で、エノキ、ハゼノキ等を含む
常緑・落葉広葉樹林	シイ・カシ二次林	スダジイ、コナラ、アカガシ、ウラジロガシなどの雑木林
常緑広葉樹林	スダジイ自然林	鋸山周辺の自然林
	ホルトノキ	群落ではないが、ホルトノキ大木の一箇所
植林地 (竹林)	竹林	モウソウチク、マダケなどの竹林
植林地 (スギ・ヒノキ)	スギ・ヒノキ植林	主にスギが多いが、スギ・ヒノキの植林箇所
植林地 (その他)	マテバシイ植林	植栽起源のマテバシイ林が広く分布
	クリ・クヌギ植林	少ないが植栽起源のクリ・クヌギ林が確認
	植栽樹林群	桜、庭木その他、高速道路法面に植栽された林
果樹園	果樹園	ビワなどの果樹園
	耕作放棄地	果樹園が放棄された箇所が点在
畑	畑	畑で地域には多い
水田	水田	水田の他、一時的な休耕田を含めた
人工草地	人工草地	草刈りされた箇所の他、休耕田を含めた
グラウンドなど	グラウンド	野球場などのグラウンド
	ゴルフ場	ゴルフ場
	人工裸地	人為的に改変された裸地
人工構造物	人工構造物	道路、施設など
住宅地・市街地・工場など	緑の多い住宅地	住宅地、集落地、工場、学校など
自然裸地	自然裸地	自然に発生した荒廃地など
開放水域	開放水域	河川、池、ダム湖



凡例

対象事業実施区域

既存自動車専用道路

既存自動車専用道路（トンネル部）

市町界

植物調査範囲

01メシバエノログサ群落

02ヒメムカシヨモギ群落

03セイタカアワダチソウ群落

04チカラシバ群落（カゼクサーオオバコ群集）

05ヨシ群落

06ツルヨシ群落

07オギ群落

08ガマ群落

09スキ群落

10チガヤ群落

11メダケ群落

12ウツギ群落

13ハンキ群落

14アカメガシワ群落（ヌルデアカメガシワ群落）

15シイ・カシニ次林

16スダジイ自然林

17ホルトノキ

18竹林

19スギ・ヒノキ植林

20マテバシイ植林

21クワ・クヌギ植林

22植栽樹林群

23果樹園

24耕作放棄地

25畑

26水田

27人工草地

28グラウンド

29ゴルフ場

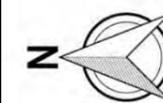
30人工裸地

31人工構造物

32緑の多い住宅地

33自然裸地

34開放水域

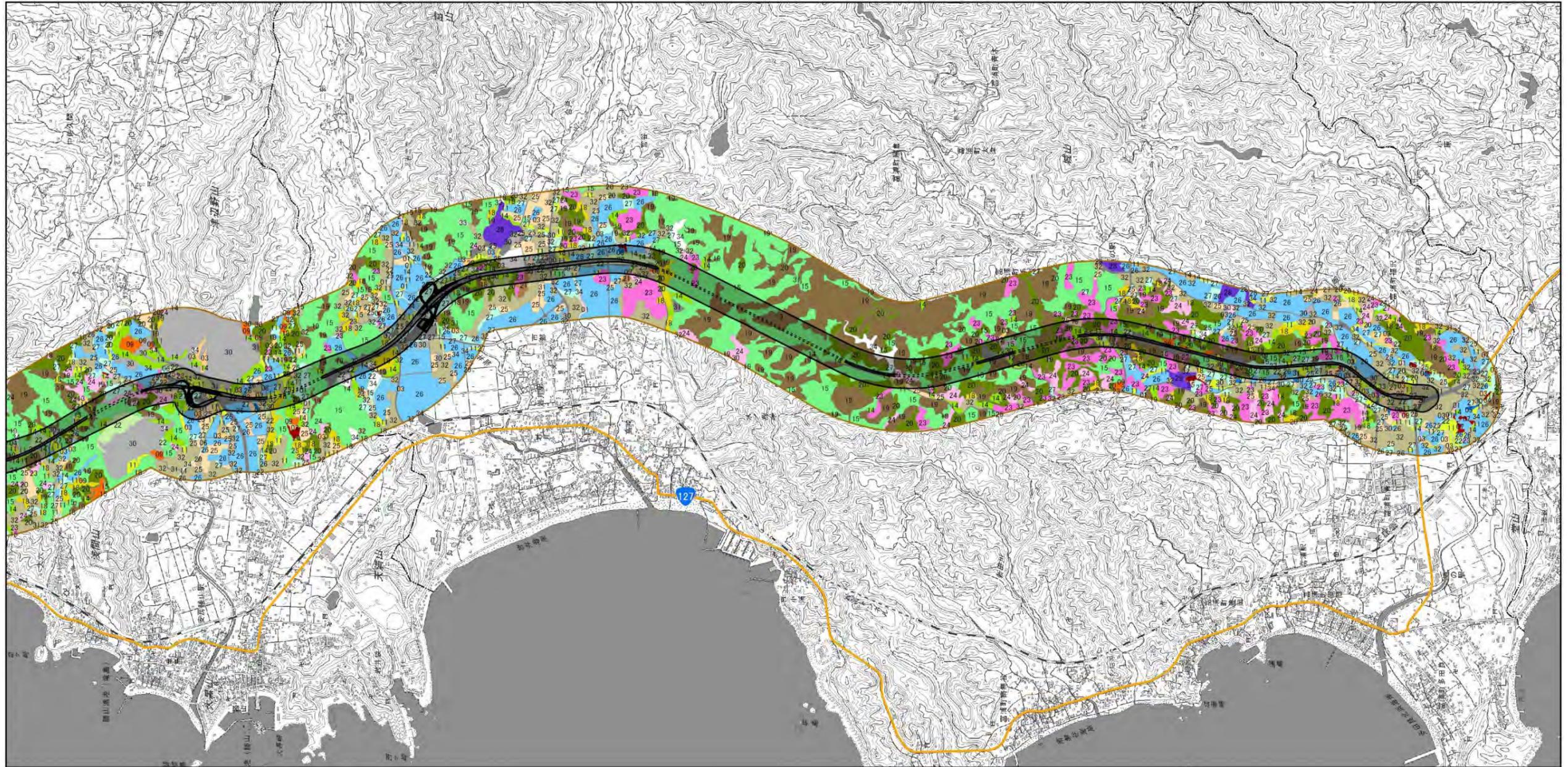


1:30,000

0 0 1 1 km

図 10.11.1-2(1)

現存植生図



凡例

対象事業実施区域

既存自動車専用道路

既存自動車専用道路（トンネル部）

市町界

植物調査範囲

01メシバエノコログサ群落

02ヒメカシヨモギ群落

03セイタカアワダチソウ群落

04チカラシバ群落（カゼクスーオオバコ群集）

05ヨシ群落

06ツルヨシ群落

07オギ群落

08ガマ群落

09スキ群落

10チガヤ群落

11メダケ群落

12ウツギ群落

13ハンキ群落

14アカメガシワ群落（ヌルデアアカメガシワ群落）

15シイ・カシニ次林

16スダジイ自然林

17ホルトノキ

18竹林

19スギ・ヒノキ植林

20マテバシイ植林

21クリ・クヌギ植林

22植栽樹林群

23果樹園

24耕作放棄地

25畑

26水田

27人工草地

28グラウンド

29ゴルフ場

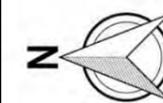
30人工裸地

31人工構造物

32緑の多い住宅地

33自然裸地

34開放水域



1:30,000

0 0 1 1 km

図 10.11.1-2(2)

現存植生図

(b) 重要な植物群落等

現地調査により確認された重要な植物群落は「鋸山の森林」、「鋸山のホソバカナワラビースダジイ群集・クリーコナラ群集など」の2種類でした。現地調査及び既存資料調査で確認された重要な植物群落とその選定理由を表 10.11-18 に示します。

表 10.11-18 重要な植物群落等

名称・樹種・件数	現地調査確認	文献調査確認	選定基準					
			①	⑥	⑦	⑧	⑨	
竹岡のヒカリモ発生地		●	国					
岩井ノ蘇鉄		●	県					
天寧寺の柏槇		●	県					
竹岡のオハツキイチョウ		●	県					
大いちょう		●	市(南)					
平久里天神社くすの木		●	市(南)					
釈迦寺の槇		●	市(南)					
宮本城址のホルトの木		●	市(南)					
延命寺のビャクシン		●	市(南)					
府中宝珠院の大椿		●	市(南)					
滝田公民館のタブノキ		●	市(南)					
増間日枝神社の大杉群		●	市(南)					
丹生のチリツバキ		●	市(南)					
那古寺の森		●		●				
富山の植生		●		●				
浮島の植生		●		●				
鋸山の森林	●	●		●				
館山市の巨樹・巨木林 (8 件)		●			●			
南房総市の巨樹・巨木林 (15 件)		●			●			
安房郡鋸南町の巨樹・巨木林 (6 件)		●			●			
富津市の巨樹・巨木林 (6 件)		●			●			
鋸南町浅間神社のトベラー ウバメガシ群集など		●						●
鋸南町勝山の大黒山のイブキ群落ほか		●						●
鋸山のホソバカナワラビースダジイ群集・クリーコナラ群集など	●	●						●
アツバサイハイゴケ-ヒナゼニゴケ群落		●						●
イチョウウキゴケ-ウキゴケ群落		●						●
ダンダンゴケ-オオハナシゴケ群落		●						●

注 1) 重要な群落の選定基準

- ① 「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号)  
「千葉県文化財保護条例」(昭和 30 年 3 月 29 日 条例第 8 号)  
「各市の文化財保護条例」(表 10.11-3 参照)  
国：国指定天然記念物、県：県指定天然記念物、市(南)：南房総市指定天然記念物
- ⑥ 「第 5 回自然環境保全基礎調査 特定植物群落調査報告書」(平成 12 年 3 月 環境庁自然保護局生物多様性センター)  
●：特定植物群落
- ⑦ 「第 4 回自然環境保全基礎調査 日本の巨樹・巨木林 関東版(Ⅱ)」(平成 3 年 5 月 環境庁)  
「第 6 回自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」(平成 13 年 3 月 環境省自然環境局生物多様性センター)  
●：巨樹・巨木林
- ⑧ 「植物群落レッドデータブック」(平成 8 年 4 月 15 日 (財)日本自然保護協会・他)
- ⑨ 「千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブック-群集・群落編」(2020 年 12 月 千葉県環境生活部自然保護課)  
●：保護上重要な群集・群落

「千葉県保護上重要な野生生物—千葉県レッドデータブック—群集・群落編」（令和2年12月、千葉県環境生活部自然保護課）により抽出されている「鋸山のホソバカナワラビスダジイ群集・クリ-コナラ群集など」は、位置についての明確な記載がないものの、主要な植物群落として示される4群落は、同資料内の記述により下記のような立地に成立していることが推察されます。

- ・イソギク-ハチジョウススキ群集：乾いた岩場には海拔100mを越えるところまで、マルバノハマシャジン、イソギク、アシタカマツムシソウなどの海崖植物群落が見られる。
- ・シキミーモミ群集及びホソバカナワラビスダジイ群集：これまでに報告されている千葉県の照葉林群落は、(中略)。房総半島中部以南では、丘陵の尾根などのやや乾いた環境にはシキミーモミ群集が、斜面中部以下の適湿な環境にはホソバカナワラビスダジイ群集が、(中略)それぞれ自然林群落として成立する。
- ・クリ-コナラ群集：乾いた稜線の岩場には、コナラにマルバアオダモ、ウリカエデ、ナンキンナナカマド、ツクバスゲなどを交えた夏緑林がある。クリ-コナラ群集と考えられ、房総半島ではまれな群落である。

これらの情報を参考として、各植物群落の計画路線周辺における分布位置を推定すると、シキミーモミ群集、ホソバカナワラビスダジイ群集は、特定植物群落として指定されている「鋸山の森林」と重複する位置や、現地調査に基づき作成した現存植生図における鋸山周辺の「スダジイ自然林」などの位置に成立しているものと考えられます。また、クリ-コナラ群集については、富津市と鋸南町の市町堺に当たる、東西に連なる鋸山周辺の稜線付近に成立しているものと考えられます。さらに、イソギク-ハチジョウススキ群集は、調査範囲よりも西側で、海に近い立地に成立しているものと考えられます。

## 2) 予測の結果

### (1) 予測の手法

道路の存在、工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置に係る植物の予測は、「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）〔国土技術政策総合研究所資料第714号〕」（平成25年3月、国土技術政策総合研究所・独立行政法人土木研究所）及び「道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」における環境保全のための取り組みに関する事例集（平成27年度版）〔国土技術政策総合研究所資料第906号〕」（平成28年3月、国土技術政策総合研究所）に基づき行いました。

#### a) 予測方法

道路構造、工事施工ヤード及び工事用道路等と植物の重要な種・群落の生育地の分布範囲から、生育環境が消失・縮小する区間及びその程度を改変面積等で把握しました。次に、それらが植物の重要な種・群落の生育環境に及ぼす影響の程度を、科学的知見及び類似事例を参考に予測しました。

#### b) 予測地域及び予測地点

予測地域は、調査地域のうち、計画路線により重要な種及び群落等の生育地の環境が消失・縮小による影響、または質的变化による影響を受ける可能性のある範囲としました。

#### c) 予測対象時期

予測の対象時期は、維管束植物及び非維管束植物の生育、植生の特性を踏まえて重要な種及び群落に係る環境影響を的確に把握できる時期としました。

d) 予測対象の選定

予測対象は、計画路線区域及び対象事業実施区域周辺において「①現地調査または既存資料調査による具体的な位置情報がある重要な種及び群落」と「②既存資料調査において生育の可能性が高いと考えられる重要な種及び群落」を選定しました。なお、「既存資料調査で確認されているが、計画路線区域内での位置情報の記載がなく、生育の可能性も低いと判断される種及び群落」は予測対象から除外しました。植物の重要な種及び群落の予測対象の選定結果を表 10.11-19～表 10.11-20 に示します。

現地調査及び既存資料調査で確認された重要な種 571 種（維管束植物：464 種、藻類：11 種、蘚苔類：32 種、地衣類：48 種、大型菌類（きのこ類）：16 種）から 109 種（維管束植物：89 種、藻類：1 種、蘚苔類：10 種、地衣類：7 種、大型菌類（きのこ類）：2 種）を予測対象に選定しました。また、重要な植物群落等 27 種類から 2 種類を予測対象に選定しました。

表 10.11-19(1) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠
			現地調査	既存資料		
シダ植物	ヒカゲノカズラ	ヒカゲノカズラ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		カタヒバ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	イワヒバ	イワヒバ	○	○	●	
		ナツノハナワラビ	○	○	●	
	ハナヤスリ	ヒロハハナヤスリ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		マツバラシ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	リュウビシ	リュウビシ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	コケシノブ	アオホラゴケ		○		
		ウチワゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		コウヤコケシノブ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		キヨシミコケシノブ		○		
	デンジソウ	デンジソウ		○		
	サンショウモ	オオアカウキクサ		○		
		サンショウモ		○		
	キジノオシダ	オオキジノオ		○		
	ホンゴウシダ	ハマホランソウ		○		
	コバノイシカグマ	ユノミネシダ	○		●	予測地域内で現地確認されている。
		クジャクフモトシダ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		フモトカグマ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		オドリコカグマ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		イシカグマ		○		
		ウスバイシカグマ		○		
	イノモトソウ	クジャクシダ		○		
		ハチジョウシダ		○		
		ハチジョウシダモドキ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	ナチシダ	ナチシダ	○	○	●	
		コバノヒノキシダ	○	○	●	
	チャセンシダ	コウザキシダ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		クモノスシダ		○		
		イワトラノオ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		ホウビシダ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	イワデンダ	フクロシダ		○		
		イワデンダ		○		
	メシダ	ウラボシノコギリシダ		○		
		カラクサイヌワラビ		○		
		シケチシダ		○		
		タニメワラビ		○		
		オオヒメワラビ		○		
		ヒカゲワラビ		○		
		シロヤマンダ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
ミヤマノコギリシダ			○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
オニヒカゲワラビ		○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
ヒュウガシダ			○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
コクモクジャク			○			
ノコギリシダ		○		●	予測地域内で現地確認されている。	
オニカナワラビ	○	○	●			
ナンゴクナライシダ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。		

表 10.11-19(2) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠	
			現地調査	既存資料			
シダ植物	オシダ	カツモウイノデ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		ヒメオニヤブソテツ		○			
		ヒロハヤブソテツ		○			
		ツクシヤブソテツ		○			
		イワヘゴ		○			
		ハチジョウベニシダ		○			
		ツクシイワヘゴ		○			
		オシダ		○			
		イヌイワイタチシダ		○			
		ナガサキシダ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
		ナガバノイタチシダ	○	○	●		
		タニヘゴ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ナンカイイタチシダ		○			
		カタイノデ		○			
		アマギイノデ		○			
		オオキヨズミシダ		○			
		サイゴクイノデ		○			
	イノデモドキ		○				
	シノブ	シノブ		○			
	ウラボシ	ヌカボシクリハラン		○			
		ヒメノキシノブ		○			
		イワヤナギシダ		○			
		カラクサシダ		○			
イワオモダカ			○				
ピロードシダ			○				
裸子植物	マツ	ゴヨウマツ		○			
	ヒノキ	オオシマハイネズ		○			
		イブキ		○			
		ネズミサシ		○			
		ボウシュウネズ		○			
被子植物	スイレン	コウホネ		○			
	マツブサ	マツブサ		○			
	センリョウ	センリョウ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
	ウマノスズクサ	カンアオイ	○	○	●		
	モクレン	ヒロハオガタマノキ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	クスノキ	バリバリノキ		○			
		アブラチャン		○			
イヌガシ			○				
被子植物 単子葉植物	サトイモ	ミミガタテンナンショウ		○			
	オモダカ	サジオモダカ		○			
		トウゴクヘラオモダカ		○			
		アギナシ		○			
	トチカガミ	ヤナギスブタ		○			
		オオウミヒルモ		○			
		ヤマトウミヒルモ		○			
		イトトリゲモ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		ホッスモ		○			
	トチカガミ	トリゲモ		○			
		オオトリゲモ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
	アマモ	ミズオオバコ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		エビアマモ		○			
		タチアマモ		○			
		コアマモ		○			
		アマモ		○			
	ヒルムシロ	ヤナギモ		○			
		ササバモ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
	キンコウカ	ソクシンラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ヒナノシヤクジョウ	ヒナノシヤクジョウ		○			
	ヤマノイモ	カエデドロロ		○			
	ホンゴウソウ	ホンゴウソウ		○			
	シュロソウ	ツクシショウジョウバカマ		○			
ホソバシュロソウ			○				
ユリ			○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
			○	○	●		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		スカシユリ		○			
		ヤマジノホトトギス		○			
		アマナ		○			

表 10.11-19(3) 予測対象の選定結果 (重要な種)

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠	
			現地調査	既存資料			
被子植物 単子葉植物	ラン	シラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		マメツタラン		○			
		エビネ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		ナツエビネ	○	○	●		
		ギンラン	○	○	●		
		キンラン	○	○	●		
		ササバギンラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		クグスマラン	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		サイハイラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		シュンラン	○		●	予測地域内で現地確認されている。	
		マヤラン	○	○	●		
		ナギラン	○	○	●		
		サガミラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		クマガイソウ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		ツチアケビ	○	○	●		
		セッコク		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		カキラン		○			
		タシロラン		○			
		アキザキヤツシロラン		○			
		ナヨテンマ		○			
		クロヤツシロラン		○			
		ベニシュスラン		○			
		ハチジョウシュスラン		○			
		アケボノシュスラン		○			
		カゴメラン		○			
		ミヤマウズラ	○		●	予測地域内で現地確認されている。	
		シュスラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		ダイサギソウ		○			
		ムヨウラン		○			
		クロムヨウラン	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		ギボウシラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		ジガバチソウ		○			
		クモキリソウ		○			
		コ克蘭	○		●	予測地域内で現地確認されている。	
		フウラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		ヒメフタバラン		○			
		トンボソウ		○			
		アワチドリ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		カヤラン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		カゲロウラン	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		アヤメ	ヒオウギ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
			カキツバタ		○		
			アヤメ		○		
		ヒガンバナ	ヤマラッキョウ		○		
			ハマオモト		○		
		クサスギカズラ	クサスギカズラ		○		
			キジカクシ		○		
			イズイワギボウシ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
			オオバギボウシ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ガマ	ミクリ		○		
ホシクサ	ヒロハノイヌノヒゲ		○				
	ホシクサ		○				
	コイヌノヒゲ		○				
	クロホシクサ		○				
イグサ	ヌカボシソウ		○				
カヤツリグサ	イセウキヤガラ		○				
	ハタガヤ		○				
	ショウジョウスゲ		○				
	ヒゲスゲ		○				
	ミヤマシラスゲ		○				
	ナルコスゲ		○				
	ツクバスゲ		○				
	オキナワジュズスゲ		○				
	サツマスゲ		○				

表 10.11-19(4) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠
			現地調査	既存資料		
被子植物 単子葉植物	カヤツリグサ	ヤガミスゲ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		スカスゲ		○		
		ヒメシラスゲ		○		
		オタルスゲ		○		
		ヒメゴウソ		○		
		タカネマスクサ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		イトアオスゲ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		コカンスゲ		○		
		ヤブスゲ		○		
		アブラシバ		○		
		シオクグ		○		
		センダイスゲ		○		
		アズマナルコ		○		
		タガネソウ		○		
		アオヒエスゲ		○		
		ヒトモトススキ		○		
		イスクグ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		キンガヤツリ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ムギガラガヤツリ		○		
		セイタカハリイ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		コアゼテンツキ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	ノテンツキ		○			
	シオカゼテンツキ		○			
	クグテンツキ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
	ナガボテンツキ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ヤリテンツキ		○			
	ピロードテンツキ		○			
	イソヤマテンツキ		○			
	オオフトイ		○			
	アブラガヤ		○			
	イネ	セトガヤ		○		
		チョウセンガリヤス	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		オオギョウギシバ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		カリマタガヤ		○		
		ヒメタイヌビエ		○		
		オオニワホコリ		○		
		ヒメウキガヤ		○		
		アズマガヤ		○		
		ハイチゴザサ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		ミノボロ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		タチネズミガヤ		○		
		エダウチヂミザサ		○		
チャボチヂミザサ		○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
アイアシ			○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
アワガユリ			○			
ツルヨシ		○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
セイタカヨシ		○	○	●		
キボウシノ			○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
ヨコハマダケ			○			
シブヤザサ			○			
イタチガヤ			○			
ハマヒエガユリ		○				
イヌアワ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。		
オオアブラスキ	○	○	●			
オニシバ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。		
ナガミノオニシバ		○				
被子植物 真正双子葉植物	ケシ	ミヤマキケマン		○		
	キンボウゲ	オオバショウマ		○		
		クサボタン		○		
		トリガタハンショウヅル		○		
		シロバナハンショウヅル		○		
		コセリバオウレン		○		
		セリバオウレン		○		

表 10.11-19(5) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠	
			現地調査	既存資料			
被子植物 真正双子葉植物	キンボウゲ	トウゴクサバノオ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		ヒメキンボウゲ		○			
		スハマソウ		○			
	カツラ	カツラ		○			
		ユキノシタ	ネコノメソウ		○		
	ペンケイソウ	ムカゴネコノメソウ		○			
		イズノシマダイモンジソウ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
		ミツバペンケイソウ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	イワレンゲ		○				
	キリンソウ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。		
	タコノアシ	タコノアシ	○	○	●		
	アリノトウグサ	フサモ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	マメ	ホドイモ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
		ジャケツイバラ	○	○	●		
		ハマナタマメ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		フジキ		○			
		タスキマメ		○			
		サイカチ		○			
		オオバヌスビトハギ		○			
		イヌハギ		○			
		マキエハギ		○			
		イヌエンジュ		○			
		ミソナオシ		○			
	ヒメハギ	ヒナノキンチャク		○			
	ニレ	ハルニレ		○			
	クワ	ヒメイタビ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
	イラクサ	ハマヤブマオ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		シマナガバヤブマオ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
		キミズ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ヤマミズ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
		ツルマオ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	バラ	ヤマブキショウマ		○			
		カスミザクラ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
		コダイコンソウ		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		リンボク		○			
		カワラサイコ		○			
		ヒロハノカワラサイコ		○			
		ミヤマフユイチゴ		○			
		バライチゴ		○			
		ヒメバライチゴ		○			
		エビガライチゴ	○	○	●		予測地域内で現地確認されている。
		ナンキンナナカマド		○			既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	ブナ	ナラガシワ		○			
		カシワ		○			
		イチイガシ		○			
		ウバメガシ		○			
		ツクバネガシ		○			
クルミ	オニグルミ		○				
	サワグルミ		○				
カバノキ	ヤマハンノキ		○				
	アカシデ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。		
アサダ	アサダ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。		
ウリ	ゴキツル		○				
ニシキギ	オニツルウメモドキ		○				
	オオツルウメモドキ		○				
	サワダツ		○				
	モクレイシ		○				
カタバミ	エゾタチカタバミ		○				
トウダイグサ	ノウルシ		○				
	イワタイグキ		○				
ヤナギ	イイギリ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。		
	バッコヤナギ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。		
	コゴメヤナギ		○				
	キシヤナギ		○				
	オノエヤナギ		○				
			○				

表 10.11-19(6) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠
			現地調査	既存資料		
被子植物 真正双子葉植物	スミレ	アツバスミレ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		コミヤマスミレ		○		
		フモトスミレ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	オトギリソウ	トモエソウ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ミヤコオトギリ		○		
	ミソハギ	ミズマツバ		○		
		ヒメビシ		○		
	アカバナ	ムクゲアカバナ	○		●	予測地域内で現地確認されている。
		ウスゲチョウジタデ	○		●	
		ミズキンバイ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	ムクロジ	チドリノキ		○		
	ミカン	キハダ		○		
		フユザンショウ		○		
	アオイ	ハマボウ		○		
		シナノキ		○		
	ジンチョウゲ	コショウノキ		○		
		コガンビ		○		
	アブラナ	シコクハタザオ		○		
		ハマハタザオ		○		
		マルバコンロンソウ		○		
		ユリワサビ		○		
	ビャクダン	ツクバネ		○		
		ヤドリギ		○		
	オオバヤドリギ	マツグミ		○		
		オオバヤドリギ		○		
	タデ	ヤナギヌカボ	○		●	予測地域内で現地確認されている。
		タニソバ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ホソバノウナギツカミ		○		
		ミチヤナギ		○		
	モウセンゴケ	アキノミチヤナギ		○		
		モウセンゴケ		○		
	ナデシコ	ハマナデシコ		○		
		ナンバンハコベ		○		
		フシグロ		○		
		フシグロセンノウ		○		
		サワハコベ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	ヒユ	ホソバハマアカザ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		マルバアカザ		○		
		カワラアカザ		○		
	ヤマゴボウ	マルミノヤマゴボウ		○		
	ミズキ	ウリノキ		○		
	アジサイ	ノリウツギ		○		
		イワガラミ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	ツリフネソウ	キツリフネ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	サクラソウ	オオバマンリョウ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		オオツルコウジ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	リョウブ	リョウブ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
ツツジ	ウメガサソウ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ヒロハドウドンツツジ		○			
	ギンリョウソウ		○			
	ミツバツツジ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
	ヒカゲツツジ	○	○	●		
アカネ	キヨスミツバツツジ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ヤブムグラ		○			
	カワラマツバ		○			
	ツルアリドオン	○		●	予測地域内で現地確認されている。	
リンドウ	ソナレムグラ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	カギカズラ		○			
	リンドウ	○		●	予測地域内で現地確認されている。	
マチン	アケボノソウ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ツルリンドウ		○			
	ホウライカズラ		○			

表 10.11-19(7) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠	
			現地調査	既存資料			
被子植物 真正双子葉植物	キョウチクトウ	サカキカズラ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		コイケマ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		シタキシソウ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		ココモメヅル		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		イヨカズラ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		クサナギオゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		スズサイロ		○			
		ヒルガオ	マメダオン		○		
			ネナシカズラ		○		
			アオイゴケ		○		
	ナス	ヤマホオズキ		○			
		メジロホオズキ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		イガホオズキ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		ヤマホロシ		○			
		スナビキシソウ		○			
	ムラサキ	ムラサキ		○			
	モクセイ	トネリコ		○			
	イワタバコ	イワタバコ		○			
		ケイワタバコ		○			
	オオバコ	ミズハコバ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		サフトウガラシ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		アブノメ		○			
		トウオオバコ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		イヌノフグリ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ゴマノハグサ	フジウツギ		○			
		オオヒナノウスツボ		○			
	シソ	コムラサキ		○			
		ジャコウソウ		○			
		シマクサギ		○			
		クルマバナ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		ヤマトウバナ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		テンニンソウ		○			
		フトボナギナタコウジュ		○			
		ヒキオコシ		○			
		キセフタ		○			
		ヤマタツナミノソウ		○			
		カリガネソウ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
	ハエドクソウ	ミゾホオズキ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ハマウツボ	ハマウツボ		○			
		ハンカイシオガマ		○			
		シオガマギク		○			
	タヌキモ	イヌタヌキモ		○			
		タヌキモ		○			
	キツネノマゴ	ハグロソウ		○			
	モチノキ	ウメモドキ		○			
	キキョウ	マルバノハマシャジン		○			
		ヤマホタルブクロ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		バアソブ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
		タニギキョウ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。	
		キキョウ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	ヒナギキョウ		○				
キク	ノコギリソウ		○				
	ノブキ		○				
	ヌマダイコン		○				
	オカダイコン	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。		
	ヤマハハコ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。		
	カワラヨモギ		○				
	カワランジン		○				
	イヌヨモギ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。		
	センダングサ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。		
	イソギク	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。		
	アワコガネギク		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。		
	タカアザミ		○				

表 10.11-19(8) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠
			現地調査	既存資料		
被子植物 真正双子葉植物	キク	ワダン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		イズハハコ		○		
		ハマサワヒヨドリ		○		
		フジバカマ		○		
		オグルマ		○		
		サクラオグルマ		○		
		ホソバオグルマ		○		
		カセンソウ		○		
		ハマニガナ		○		
		オオニガナ		○		
		サワギク		○		
		アキノハハコグサ		○		
		キクアザミ		○		
		ハマアキノキリンソウ		○		
		クマノギク		○		
		オヤマボクチ		○		
		オカオグルマ		○		
		サワオグルマ		○		
		オナモミ		○		
		ウコギ	ミヤマチドメ	○	○	
		トチバニンジン		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		セリ	シヤク		○	
			ミシマサイコ		○	
			ホタルサイコ		○	
			セリモドキ		○	
			ハマボウフウ		○	
			イブキボウフウ		○	
		ガマズミ	ミヤマガマズミ		○	
		スイカズラ	オオツクバネウツギ		○	
		ナベナ		○		
		ミヤマウグイスカグラ		○		
		キンギンボク		○		
		アシタカマツムシソウ		○		
ゼニゴケ綱	ゼニゴケ	ヒトデゼニゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	ジンガサゴケ	アツバサイハイゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ヒサゼニゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	ウキゴケ	イチョウウキゴケ	○	○	●	
ツボミゴケ綱	クモノスゴケ	ニセヤハズゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	クサリゴケ	チャボクサリゴケ		○		
		ナガシタバヨウジョウゴケ		○		
		ヨウジョウゴケ		○		
		カビゴケ	○		●	予測地域内で現地確認されている。
	ソコマメゴケ	ヤマトソコマメゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
ミズゴケ綱	ミズゴケ	オオミズゴケ (ミズゴケ)		○		
スギゴケ綱	スギゴケ	ウマスギゴケ		○		
マゴケ綱	ハウオウゴケ	イリオモテハウオウゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ジョウレンハウオウゴケ		○		
		オーストラリアイボハウオウゴケ		○		
	シッポゴケ	イクタマユハケゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	カタシロゴケ	ヒメイサワゴケ	○	○	●	既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		カタシロゴケ		○		
	センボンゴケ	ダンダンゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		フガゴケ		○		
		オオハナシゴケ		○		
		ソリハソコゴケ		○		
		クチヒゲゴケ		○		
	アオギヌゴケ	ムツコネジレゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		アツブサゴケ	○		●	
		キブリナギゴケ	○		●	
	ハイゴケ	シワラッコゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
ヒラゴケ	スズゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
	コメリンスゴケ		○			
キヌイトゴケ	アオイトゴケ	○		●	予測地域内で現地確認されている。	

表 10.11-19(9) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠
			現地調査	既存資料		
ツノゴケ綱	ツノゴケ	ミヤベツノゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ツノゴケモドキ		○		
ホシゴケ綱	リトマスゴケ	ヒメカシゴケ		○		
		ヘリプトゴケ		○		
クロイボタケ綱	マメゴケ	マメゴケ		○		
チャシブゴケ綱	ハナゴケ	マタゴケ		○		
		ササクレマタゴケ		○		
	チャシブゴケ	キクバチャシブゴケ		○		
		ウメノキゴケ	フトネゴケ	○	○	
		オオチヂレマツゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ハイイロウメノキゴケ属	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		トグトコブシゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		タカハシゴンゲンゴケ		○		
		センシゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		コナウチキウメノキゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ハヤチネウメノキゴケ		○		
		ウチキウメノキゴケ		○		
		コフキチヨロギウメノキゴケ		○		
		ヤスダゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
		チヂレマツゴケまたはウラグロマツゴケ	○	○	●	
		クズレマツゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		サルオガセ属		○		
		アカサルオガセ		○		
		キクバゴケ属	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	カラタチゴケ	ハマカラタチゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
カイガラゴケ	ヒメカイガラゴケ		○			
ワタヘリゴケ	ワタヘリゴケ		○			
ムカデゴケ	トゲヒメガジゲジゴケ		○			
	オオゲジゲジゴケ		○			
	チヂレウラジロゲジゲジゴケ		○			
	コフキゲジゲジゴケ		○			
	シナムカデゴケ		○			
	ヤマトカワホリゴケ		○			
	イズカワホリゴケ		○			
	アオキノリ		○			
	トゲアオカワキノリ		○			
	コナアオキノリ		○			
	カワラゴケ	コナカワラゴケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
カブトゴケ	キンブチゴケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。	
ツメゴケ	コフキツメゴケ		○			
モジゴケ	スダガサゴケ		○			
	ナマリモジゴケ		○			
	テロトレマ	グロソマルギナートウム		○		
				○		
ダイダイサラゴケ	ウスチャサラゴケ		○			
サラゴケ	ジンムジサラゴケ		○			
チャヘリトリゴケ	アオチャゴケ		○			
ツブノリ綱	ツブノリ	コバノヤスデゴケモドキ		○		
ユーロチウム菌綱	アナイボゴケ	ヤマトムキミゴケ		○		
	イチジクゴケ	イチジクゴケ		○		
ユーロチウム綱	マユハキタケ	マユハキタケ	○		●	予測地域内で現地確認されている。
チャワソウ綱	ピロネマ	スナヤマチャワソウ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	セイヨウショウロ	イボセイヨウショウロ		○		
ハラタケ綱	ハラタケ	ハマベダンゴタケ		○		
		ナガエノホコリタケ		○		
		ウネミケンボウズタケ		○		
					○	
	テングタケ	シロテングタケ		○		
		ウスキテングタケ		○		
	オオモミタケ	モミタケ		○		
	クスギタケ	ヤコウタケ		○		
		アミヒカリタケ	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
	ナヨタケ	スナジクズタケ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
	キシメジ	バカマツタケ		○		
	イグチ	オオヤシャイグチ		○		
	スッポンタケ	コナガエノアカカゴタケ		○		
	ベニタケ	ルリハツタケ		○		

表 10.11-19(10) 予測対象の選定結果（重要な種）

目名	科名	種名	確認状況		予測対象	選別根拠
			現地調査	既存資料		
アオサ藻綱	クダネダシグサ	キッコウグサ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
車軸藻綱	シャジクモ	シャジクモ		○		
		カタシャジクモ		○		
褐藻綱	レソニア	アントクメ		○		
ウシケノリ綱	ウシケノリ	フノリノウシゲ		○		
真正紅藻綱	ベニマダラ	タンスイベニマダラ	○		●	予測地域内で現地確認されている。
	コナハダ	コナハダ		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
		ヨゴレコナハダ		○		
	オキツノリ	サイミ		○		
	ユカリ	マキユカリ		○		
コノハノリ	ホソアヤギヌ		○			
570種			109種	547種	109種	—

表 10.11-20 予測対象の選定結果（重要な群落）

名称・樹種・件数	確認状況		予測対象	選定根拠
	現地調査	既存資料		
竹岡のヒカリモ発生地		○		既存資料調査の確認位置が予測地域以遠。
岩井ノ蘇鉄		○		
天寧寺の柏槇		○		
竹岡のオハツキイチョウ		○		
大いちょう		○		
平久里天神社くすの木		○		
釈迦寺の槇		○		
宮本城址のホルトの木		○		
延命寺のビャクシン		○		
府中宝珠院の大椿		○		
滝田公民館のタブノキ		○		
増間日枝神社の大杉群		○		
丹生のチリツバキ		○		
那古寺の森		○		
富山の植生		○		
浮島の植生		○		
鋸山の森林	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
館山市の巨樹・巨木林（8件）		○		既存資料調査の確認位置が予測地域以遠。
南房総市の巨樹・巨木林（15件）		○		
安房郡鋸南町の巨樹・巨木林（6件）		○		
富津市の巨樹・巨木林（6件）		○		
鋸南町浅間神社のトベラー ウバメガシ群集など		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
鋸南町勝山の黒山の大黒山のイブキ群落ほか		○		
鋸山のホソバカナワラビ- スダジイ群集・クリコナラ群集など	○	○	●	予測地域内で現地確認されている。
アツバサイハイゴケ-ヒナゼニゴケ群落		○		既存資料に計画路線区域内での位置情報の記載なし。
イチョウウキゴケ-ウキゴケ群落		○		
ダンダンゴケ-オオハナシゴケ群落		○		

e) 影響予測の手順

植物の重要な種の影響予測の手順を図 10.11.1-3 に示します。

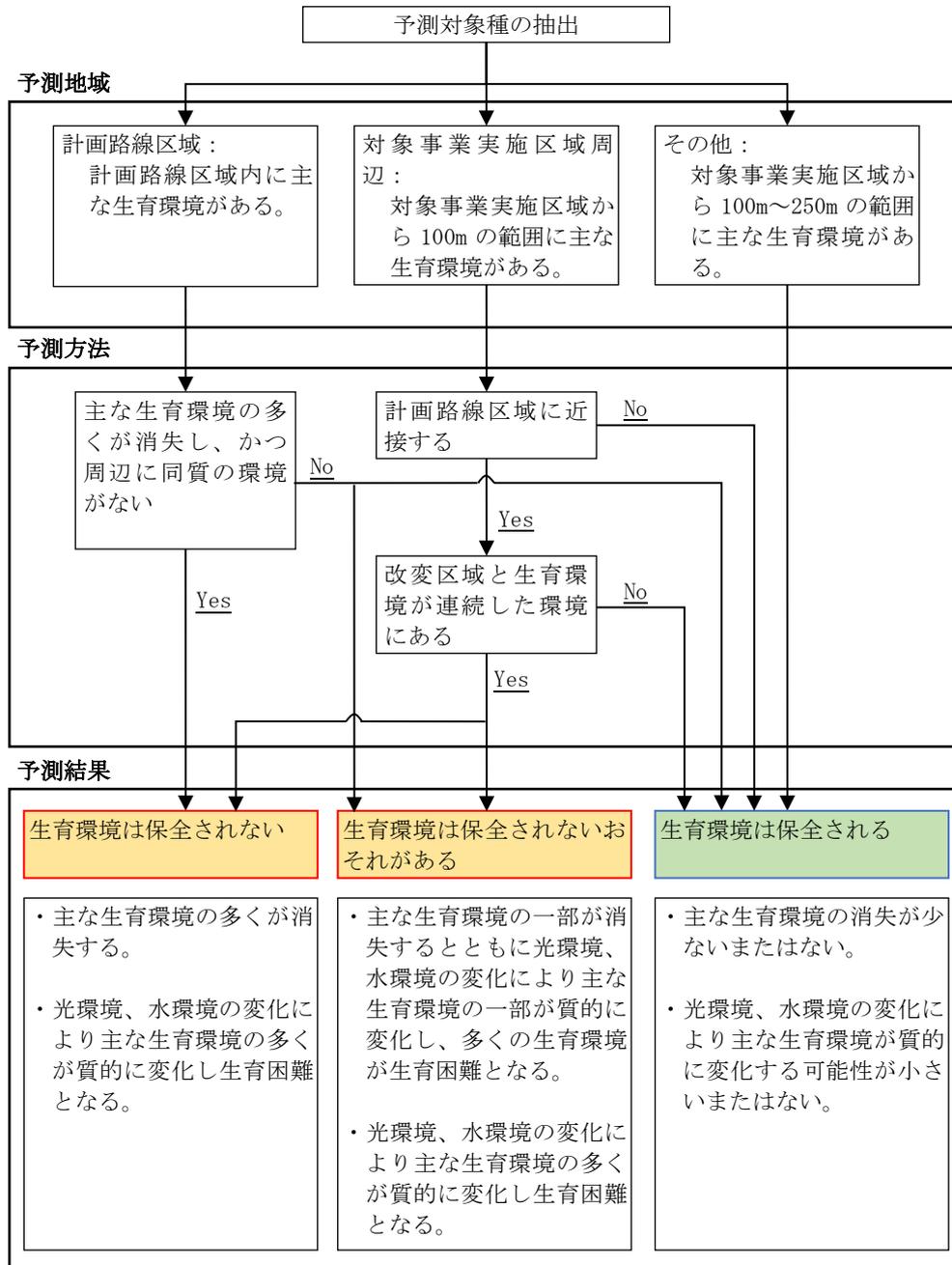


図 10.11.1-3 予測手順

**【用語の説明】**

- ・計画路線区域：対象事業実施区域内の直接変更を受ける区域（供用後は法面や側道等を含む道路用地境界まで、工事中は施工ヤード等を含みます。）
- ・対象事業実施区域周辺：計画路線区域を除く対象道路事業実施区域から100mの範囲
- ・その他：対象道路事業実施区域周辺を除く調査範囲

(2) 予測結果

植物の重要な種及び群落の予測結果の概要を表 10.11-21～表 10.11-22 に、各重要な種及び群落の予測結果を表 10.11-23～表 10.11-27 に示します。

表 10.11-21(1) 重要な植物種の予測結果概要

分類	種名	確認種の生育環境	確認地点		影響の有無	生育環境への影響
			計画路線区域	対象事業実施区域周辺		
維管束植物	1 カタヒバ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	2 イワヒバ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	3 ナツノハナワラビ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	4 マツバラシ	樹林環境	●	●	有	生育環境は保全されないおそれがある
	5 ウチワゴケ	樹林環境		●	有	生育環境は保全されないおそれがある
	6 ユノミネシダ	草地		●	無	生育環境は保全される
	7 フモトカグマ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	8 ハチジョウシダモドキ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	9 ナチシダ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	10 コバノヒノキシダ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	11 イワトラノオ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	12 シロヤマシダ	樹林環境	●	●	有	生育環境は保全されない
	13 オニヒカゲワラビ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	14 ノコギリシダ	樹林環境		●	有	生育環境は保全されないおそれがある
	15 オニカナワラビ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	16 ナガサキシダ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	17 ナガバノイタチシダ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	18 センリョウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	19 カンアオイ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	20 イトリゲモ	水辺（水田）			無	生育環境は保全される
	21 オオトリゲモ	水辺（水田）		●	無	生育環境は保全される
	22 ササバモ	水辺（河川）		●	無	生育環境は保全される
	23 ホソバシユロソウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	24 ヤマユリ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	25 エビネ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	26 ナツエビネ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	27 ギンラン	樹林環境		●	有	生育環境は保全されないおそれがある
	28 キンラン	樹林環境		●	有	生育環境は保全されないおそれがある

表 10.11-21(2) 重要な植物種の予測結果概要

分類	種名	確認種の生育環境	確認地点		影響の有無	生育環境への影響	
			計画路線区域	対象事業実施区域周辺			
維管束植物	29	クゲヌマラン			無	生育環境は保全される	
	30	シュンラン		●	無	生育環境は保全される	
	31	マヤラン		●	無	生育環境は保全される	
	32	ナギラン		●	無	生育環境は保全される	
	33	クマガイソウ		●	無	生育環境は保全される	
	34	ツチアケビ		●	●	有	生育環境は保全されない
	35	ミヤマウズラ			●	無	生育環境は保全される
	36	クロムヨウラン			●	有	生育環境は保全されないおそれがある
	37	コ克蘭		●	●	有	生育環境は保全されないおそれがある
	38	アワチドリ			●	無	生育環境は保全される
	39	カゲロウラン			●	無	生育環境は保全される
	40	イズイワギボウシ			●	無	生育環境は保全される
	41	タカネマスクサ			●	無	生育環境は保全される
	42	イヌクグ	草地		●	無	生育環境は保全される
	43	セイタカハリイ	水辺（水田）		●	無	生育環境は保全される
	44	クグテンツキ	水辺（水田）		●	無	生育環境は保全される
	45	チョウセンガリヤス	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	46	ハイチゴザサ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	47	チャボチヂミザサ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	48	ツルヨシ	水辺（河川）		●	無	生育環境は保全される
	49	セイタカヨシ	草地		●	無	生育環境は保全される
	50	イヌアワ	樹林環境		●	有	生育環境は保全されないおそれがある
	51	オオアブラスキ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	52	イズノシマダイヤモンドソウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	53	キリンソウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	54	タコノアシ	水辺（水田）		●	無	生育環境は保全される
	55	ホドイモ	草地			無	生育環境は保全される
	56	ジャケツイバラ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	57	ヒメイタビ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
58	シマナガバヤブマオ	草地			無	生育環境は保全される	
59	ヤマミズ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される	

表 10.11-21(3) 重要な植物種の予測結果概要

分類	種名	確認種の生育環境	確認地点		影響の有無	生育環境への影響	
			計画路線区域	対象事業実施区域周辺			
維管束植物	60	カスミザクラ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	61	エビガライチゴ	樹林環境	●	●	無	生育環境は保全される
	62	アカンデ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	63	イイギリ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	64	フモトスミレ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	65	ムクゲアカバナ	水辺（水田）			無	生育環境は保全される
	66	ウスゲチョウジタデ	水辺（水田）	●	●	無	生育環境は保全される
	67	ヤナギヌカボ	水辺（河川）		●	無	生育環境は保全される
	68	サワハコベ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	69	イワガラミ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	70	オオバマンリョウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	71	リョウブ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	72	ミツバツツジ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	73	ヒカゲツツジ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	74	ツルアリドオシ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	75	リンドウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	76	サカキカズラ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	77	シタキノウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	78	イヨカズラ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	79	メジロホオズキ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	80	ミズハコベ	水辺（水田）			無	生育環境は保全される
	81	トウオオバコ	水辺（河川）			無	生育環境は保全される
	82	クルマバナ	草地			無	生育環境は保全される
	83	カリガネソウ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	84	ヤマホタルブクロ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	85	タニギキョウ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	86	オカダイコン	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	87	イヌヨモギ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	88	イソギク	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
89	ミヤマチドメ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される	
藻類	1	タンスイベニマダラ	水辺（河川）		●	無	生育環境は保全される

表 10.11-21(4) 重要な植物種の予測結果概要

分類	種名	確認種の生育環境	確認地点		影響の有無	生育環境への影響
			計画路線区域	対象事業実施区域周辺		
蘇苔類	1 ヒトデゼニゴケ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	2 ヒナゼニゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	3 イチョウウキゴケ	水辺（水田）		●	無	生育環境は保全される
	4 カビゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	5 イクタマユハケゴケ	樹林環境			無	生育環境は保全される
	6 ヒメイサワゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	7 ムツコネジレゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	8 アツブサゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	9 キブリナギゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	10 アオイトゴケ	樹林環境			無	生育環境は保全される
地衣類	1 フトネゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	2 ハイイロウメノキゴケ属の一種	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	3 センシゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	4 ヤスダゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	5 チヂレマツゲゴケまたはウラグロマツゲゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	6 キクバゴケ属の一種	水辺（水田）			無	生育環境は保全される
	7 コナカワラゴケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
大型菌類（きのこ類）	1 マユハキタケ	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	2 アミヒカリタケ	樹林環境	●	●	無	生育環境は保全される

表 10.11-22 重要な植物群落の予測結果概要

分類	種名	確認種の生育環境	確認地点		影響の有無	生育環境への影響
			計画路線区域	対象事業実施区域周辺		
植物群落	1 鋸山の森林	樹林環境		●	無	生育環境は保全される
	2 鋸山のホソバカナワラビ-スダジイ群集・クリ-コナラ群集など	樹林環境		●	無	生育環境は保全される

a) 維管束植物

予測地域に生育地の存在が考えられる重要な維管束植物の予測結果を表 10.11-23 に示します。

表 10.11-23(1) 重要な植物種の予測結果

1 カタヒバ		
一般生態	常緑性で、地下茎は岩上の泥や砂礫やコケの間を匍匐します。地上茎は3回羽状に分岐し、卵形に広がります。主軸には卵形の葉をまばらにつけ、小枝の腹葉は卵形で開出し、やや密につけます。孢子囊穂は小枝に1個頂生し、四角柱状です。県南部から房総丘陵地の明るい岩上にややまれに見られます。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 4箇所 120 個体 周辺</li> <li>・その他 : 2箇所 210 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/4 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/120 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/120 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(2) 重要な植物種の予測結果

2 イワヒバ		
一般生態		常緑性で、根茎などがからまって仮幹をつくります。草丈は3～20cmで、頂端は一平面に放射状に分岐し葉身状になります。乾くと内側に巻き込みます。葉は茎に密に生じ、上面は暗緑色、下面は淡緑色です。孢子囊穂は小枝に1個頂生し、四角柱状。山地や山麓の険しい岩壁などに生育します。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 :6箇所50個体 周辺</li> <li>・その他 :1箇所2個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 :樹林環境 周辺</li> <li>・その他 :樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数：0/6（割合：0.0%）	
	生育環境の改変により消失する生育株数：0/50（割合：0.0%）	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：0/50（割合：0.0%）	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(3) 重要な植物種の予測結果

3 ナツノハナワラビ			
一般生態		夏緑性で、根茎は肉質で円柱状、短く直立します。肉質の根を多数生じます。葉は年に1枚出します。草丈は25～70cm、担葉体は葉の半分の長さ、栄養葉は無柄で3出葉、3～4回羽状複葉、軟らかい草質、淡い緑色です。胞子葉は葉身の基部から分岐、胞子穂は狭三角状で円錐花序的に3～4回羽状に分岐します。房総丘陵から下総台地にかけての、やや湿った林の林床にややまれに分布します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : ー</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 2箇所2個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : ー</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数：なし 生育環境の改変により消失する生育株数：なし 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23(4) 重要な植物種の予測結果

4 マツバラン			
一般生態		常緑性で、根がなく、地下茎は二叉分岐を繰り返し、密生します。褐色毛があり、地上茎は緑色で、数回 二叉分岐し、立体的な形状となります。鱗片状の突起を散生します。胞子嚢群は、短い側枝の上につき、樹幹や岩上に生育します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 1 箇所 3 個体</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 8 個体 周辺</li> <li>・その他 : 3 箇所 13 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 樹林環境</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 1/3 (割合 : 33.3%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 3/11 (割合 : 27.3%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/11 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、工事の実施により 3 株 (現地調査で確認された生育株の 27.3%) の生育環境が消失します。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、道路の存在・供用により 3 株 (現地調査で確認された生育株の 27.3%) の生育環境が消失します。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。	

表 10.11-23(5) 重要な植物種の予測結果

5 ウチワゴケ		
一般生態		常緑性で、根茎は糸状で長く這い、黒褐色の毛が密に生じます。葉身は0.5～1.5cm、扇状で縁は不規則に切れ込みます。孢子嚢群は裂片の先につき包膜はコップ状で縁は広がっています。山地林下の日陰で湿った岩上や樹幹に着生しています。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 6箇所 3,430 個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 5箇所 900 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/6 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/3,430 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 2,000/3,430 (割合 : 58.3%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2,000株(現地調査で確認された生育株の58.3%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2,000株(現地調査で確認された生育株の58.3%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。

表 10.11-23(6) 重要な植物種の予測結果

6 ユノミネシダ			
一般生態		やや明るい林内または林縁部に生育します。源泉地や鉱山跡等に特異的に見られることが多く、1対の羽片が伸長した後、基部の新芽が成長を繰り返し、大型になる常緑のシダ植物です。葉身は2回羽状複葉、鮮緑色、裏面は粉白色、葉縁はわずかに裏面に巻き、胞子嚢群は葉縁について長く伸びます。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所1個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 草地 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23(7) 重要な植物種の予測結果

7 フモトカグマ			
一般生態	常緑性で、フモトシダで羽片が全裂し、葉が2回羽状複生となったクジャクフモトシダに似ていますが、羽片のものの付近では裂片は完全に独立します。羽軸に流れて狭い翼をつくること（これはクジャクフモトシダの特徴）はありません。葉身は長楕円状披針形で、一般に最下羽片はその真上の羽片より短くなることが多くあります。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 18箇所 115 個体 周辺</li> <li>・その他 : 21箇所 99 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 0/18 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/115 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/115 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23(8) 重要な植物種の予測結果

8 ハチジョウシダモドキ (コハチジョウシダ)		
一般生態	常緑性で、根茎は斜上し、葉柄は30~50cm、葉身は長楕円形で約 50 cmに達します。2回羽状で羽片は10対前後あり、頂羽片がはっきりしていません。孢子嚢群は裂片の辺縁に沿って長くついており、温暖な山地の安定した林床に生育します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 9箇所 191 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : なし	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : なし	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : なし	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(9) 重要な植物種の予測結果

9 ナチシダ			
一般生態		常緑性～夏緑性で、根茎は短く斜上で、1.5m 以上になる大型のシダです。葉身基部は3つに分岐し、5角形です。葉質は草質です。胞子嚢群は裂片の辺縁に沿って長くつきます。裂片の辺縁が反転して透明な偽包膜になり、暖地の陰湿な林床に生育し、群落を形成することが多いです。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 22 箇所 82 個体</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 31 箇所 437 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/22 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/82 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 2/82 (割合 : 2.4%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2 株（現地調査で確認された生育株の 2.4%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2 株（現地調査で確認された生育株の 2.4%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23(10) 重要な植物種の予測結果

10 コバノヒノキシダ		
一般生態		常緑性で、根茎は短く斜上し葉を叢生します。葉柄は 2~7cm、披針形の黒褐色で格子状の鱗片をつけます。葉身は 5~10cm、長楕円形で 2~3 回羽状に分かれます。イワトラノオとよく似ていますが、本種は中軸の表面の溝は中央部が凸状になり、また裂片の先が尖りぎみです。山地の岩上や路傍の石垣の間に生育します。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : - 周辺</li> <li>・その他 : 3 箇所 550 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : - 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : なし	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : なし	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : なし	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
存在・供用	道路の存在	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(11) 重要な植物種の予測結果

11 イワトラノオ		
一般生態	常緑性で、根茎は短く斜上し、葉柄は2~6 cmと細く、葉身は2~12 cm、広披針形で2回羽状複生します。コバノヒノキシダに似ていますが葉質は柔らかく小羽片は丸みをおびています。森林内の溪流付近の湿った岩上などにコケなどと混ざって生育することが多くあります。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 2箇所 40 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : なし	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : なし	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : なし	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(12) 重要な植物種の予測結果

12 シロヤマシダ		
一般生態		常緑性（県内ではほぼ夏緑性）で、根茎は這ってやや太く、葉柄は 30～50cm、基部は暗褐色で膜質の落ちやすい披針形の鱗片をつけます。葉身は 50～100cm、三角状卵形で、2 回羽状深裂です。羽片や小羽片には短い柄があり、山地の林床の湿った場所にやや群生することが多いです。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 1 箇所 300 個体</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 101 個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 6 箇所 52 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 樹林環境</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 1/3 (割合 : 33.3%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 300/401 (割合 : 74.8%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/401 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、工事の実施により 300 株（現地調査で確認された生育株の 74.8%）の生育環境が消失します。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じるため、本種の生育環境は保全されないと予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、道路の存在・供用により 300 株（現地調査で確認された生育株の 74.8%）の生育環境が消失します。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じるため、本種の生育環境は保全されないと予測します。

表 10.11-23(13) 重要な植物種の予測結果

13 オニヒカゲワラビ		
一般生態		常緑性で、地上部の一部が冬期に枯れることがあります。根茎は太く横走、葉を密につけます。葉は150 cm以上になることもある大型のシダで、葉柄は太く基部には汚褐色で披針形、先が長く尖り辺縁に突起のある鱗片をやや密につけます。葉身は広卵状三角形、2回羽状複生～3回羽状深裂です。小羽片の基部は切形で短い柄があります。胞子嚢群は線形で小羽片の中肋寄りにつき、包膜は薄い膜質で、三日月形、辺縁に細裂します。房総丘陵の林の陰湿な林床にややまれに生育します。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所1個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(14) 重要な植物種の予測結果

14 ノコギリシダ		
一般生態	<p>本州（関東以西）、四国、九州、南西諸島の暖温帯、亜熱帯域に分布する中型の常緑性シダです。葉身は三角状狭楕円形で、単羽状浅裂、羽片には耳垂があります。明るい緑色で、葉質は革質です。葉裏の孢子嚢群は線形です。関東（主に千葉、神奈川）では、一般的に沢筋の樹林内で、沢の流れのそばの地上、岩陰に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 4 箇所 29 個体 周辺</li> <li>・その他 : 15 箇所 233 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>変更される生育地点数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/29 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 10/29 (割合 : 34.5%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、10 株（現地調査で確認された生育株の 34.5%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、10 株（現地調査で確認された生育株の 34.5%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。</p>

表 10.11-23(15) 重要な植物種の予測結果

15 オニカナワラビ			
一般生態	常緑性で、根茎は短く這い、葉は大きく 60~80 cmに達し、葉面は金属状の光沢を有します。羽片は 4~6 対あり、頂羽片にならず次第に短くなります。独立種説を採ることが多いですが、変種として扱うこともあります。丘陵地の少し乾いた斜面や林床に生育します。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 1 個体 周辺</li> <li>・その他 : 2 箇所 12 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23(16) 重要な植物種の予測結果

16 ナガサキシダ		
一般生態	常緑性で、根茎は短く、葉柄は 30～50 cm、淡褐色でやや太いです。葉身は 40～60 cm で 1 回羽状複葉、側羽片は 3～6 対、同形の頂羽片がありません。山林下に生育します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 1 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : なし	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : なし	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : なし	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(17) 重要な植物種の予測結果

17 ナガバノイタチシダ			
一般生態		常緑性で、葉は大きいものは 90 cmほどになります。葉柄は茶褐色で、下部に淡い茶色の鱗片が付きます。山地の林床に生育しますが、崖地を好む傾向があります。県内でもこのようなところに生育します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 2箇所5個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数：なし		
	生育環境の改変により消失する生育株数：なし		
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数：なし		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置	<p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。</p> <p>また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。</p> <p>以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	道路の存在	<p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。</p> <p>また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。</p> <p>以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23(18) 重要な植物種の予測結果

18 センリョウ		
一般生態	常緑小低木で、樹高は約 50～100cm のことが多く、暖地の林内に生育し、花期は 6～7 月で、枝先に小さな花が集まって付きます。果実は直径約 5～7mm の球形で、12～3 月に朱赤色に熟します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 1 個体 周辺</li> <li>・その他 : 2 箇所 2 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(19) 重要な植物種の予測結果

19 カンアオイ			
一般生態	冬緑性多年草で、茎は短く地上を這い、葉は長い柄があり卵状楕円形、基部は深い分布心臓形、白斑が入る場合があります。花は暗紫色で、地面上に数花を咲かせます。花柱の上部は2裂します。花期は9～10月、明るい樹林下に生育します。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 27箇所 196 個体 周辺</li> <li>・その他 : 31箇所 260 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/27 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/196 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 6/196 (割合 : 3.1%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、6株(現地調査で確認された生育株の3.1%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、6株(現地調査で確認された生育株の3.1%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (20) 重要な植物種の予測結果

20 イトトリゲモ			
一般生態	水田、池沼、ため池などに生える一年生の沈水植物です。葉身は糸状で 1 節から 5 葉を生じることがあり、種子は各節に 2 個付きます。ヒツジグサ群団です。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 4 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : なし 生育環境の改変により消失する生育株数 : なし 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : なし		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (21) 重要な植物種の予測結果

21 オオトリゲモ		
一般生態	池沼、ため池などの生える一年生草本の沈水植物です。植物体は硬く、葉は 2~4cm で外側に反り返り、雄ずいの葯は 4 室です。通常は水深が 20~40cm の場所に生育します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 100 個体 周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 200 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (水田) 周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/100 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/100 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (22) 重要な植物種の予測結果

22 ササバモ		
一般生態	<p>大型で沈水性の多年生草本です。湖沼、河川、水路等に生育します。葉は単葉で互生で、水中茎は 3m を越えることもあります。陸生形ではヒルムシロに酷似しますが葉の先端は鋭頭で芒状に突出するので識別できます。水媒で、水散布です。ヒルムシロ群綱です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 2箇所 12 個体 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (河川) 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/12 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/12 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、橋脚設置予定の河川では低水路に接しない位置に橋脚を設置するとともに、必要に応じて仮設材料による一時的な流路の切り回し等を実施する場合は、濁水の発生に留意した工法及び濁水を河川等に流さない方法を検討することから、水質・水量の変化による生育環境の質的变化はほとんど生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、橋脚設置予定の河川では低水路に接しない位置に橋脚を設置することから、水量の変化による生育環境の質的变化はほとんど生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (23) 重要な植物種の予測結果

23 ホソバシユロソウ		
一般生態	<p>中型からやや大型の夏緑多年草です。根生葉は線状楕円形で縦皺が目立ちます。株の基部に繊維質が集まってつき、花は秋の初めに咲きやや褐色を帯びた紫色で、散房状の花序に群がりつきます。虫媒で、風散布です。明るいコナラ林や林縁に生えますが群がって生えることはありません。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 3箇所3個体 周辺</li> <li>・その他 : 3箇所7個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (24) 重要な植物種の予測結果

24 ヤマユリ (エイザンユリ)			
一般生態		鱗茎は扁球形で径10cm内外となり食用とされます。茎は高さ1~1.5m、円柱形で無毛です。葉は互生し、長さ15~20cm、細長く5脈あり、先が尖りません。花は白色で花被片の中央に黄条があり、内面に黄褐色の斑点があります。岩がちの水はけのよいところに見られます。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 12箇所 76 個体 周辺</li> <li>・その他 : 20箇所 185 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/12 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/76 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 5/76 (割合 : 6.6%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、5株(現地調査で確認された生育株の6.6%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、5株(現地調査で確認された生育株の6.6%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (25) 重要な植物種の予測結果

25 エビネ			
一般生態	花茎は高さ 30～50cm になり、山野の落葉広葉樹林内に生育する多年草です。花期は 4～5 月です。多数の花が総状につきます。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 51 箇所 479 個体 周辺</li> <li>・その他 : 67 箇所 757 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/51 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/479 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 99/479 (割合 : 20.7%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、99 株（現地調査で確認された生育株の 20.7%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、99 株（現地調査で確認された生育株の 20.7%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (26) 重要な植物種の予測結果

26 ナツエビネ		
一般生態	<p>中型の多年生草本で、照葉樹林あるいは照葉樹の混交するモミ林などに生え、葉は単葉で互生です。葉の基部は相互に重なりやや筒状になり、葉の色はエビネよりも濃い緑色です。花は8月に咲き、花被片は細く尖り、紅紫色を帯びた白色で、唇弁は濃い紅紫色です。虫媒で風散布します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 2箇所3個体 周辺</li> <li>・その他 : 3箇所4個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-23 (27) 重要な植物種の予測結果

27 ギンラン			
一般生態	高さ 20~40cm の多年草です。クヌギ~コナラの二次林の林床に多かったが、都市域のクロマツ、マテバシイ、スダジイなどの植栽された林に多く見られるようになっていきます。花期は5月で白色の花を付けます。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 1 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 1/1 (割合 : 100.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、1株(現地調査で確認された生育株の 100.0%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、1株(現地調査で確認された生育株の 100.0%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。	

表 10.11-23 (28) 重要な植物種の予測結果

28 キンラン			
一般生態	高さ 40～80cm で、コナラの二次林などの夏緑林の林床に生える多年草です。植栽されたスダジイ、マデバシイ、クロマツなどの林床にも生え、花期は4～6月で黄色い花が咲きます。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 3箇所 8 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 0/3 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/8 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 6/8 (割合 : 75.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、6株（現地調査で確認された生育株の 75.0%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、6株（現地調査で確認された生育株の 75.0%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。	

表 10.11-23 (29) 重要な植物種の予測結果

29 クゲヌマラン		
一般生態	<p>多年生草本で、葉は単葉で互生し、花は白色でギンランに似ますが、ギンランより一回り大きいことが多いです。本来、海岸に近い砂丘のクロマツ林の林床に生える種ですが、近年では、埋立地の植栽林や、内陸のコナラ二次林の林床等にも群生が見られます。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1箇所 20 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (30) 重要な植物種の予測結果

30 シュンラン			
一般生態		常緑多年草で、葉は多く、2列の扇状に出て上部は曲がって垂れます。葉のへりに粗い鋸歯があります。3~4月頃淡黄緑色の花径3~5cmくらいの花を咲かせます。葉の長さは20cm程度で、草丈は10~25cmです。乾燥した落葉樹林の林床に生育します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 16箇所 27個体 周辺</li> <li>・その他 : 9箇所 11個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/16 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/27 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 6/27 (割合 : 22.2%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、6株(現地調査で確認された生育株の22.2%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、6株(現地調査で確認された生育株の22.2%)の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (31) 重要な植物種の予測結果

31 マヤラン		
一般生態	林の中に生える腐生の多年性草本で、緑の葉を持ちません。地上部は、花期である7月頃に、高さ約20cmの花茎が現れます。花茎の先端には、数個の花からなる総状花序が付きます。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所2個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (32) 重要な植物種の予測結果

32 ナギラン			
一般生態	常緑多年生草本で、照葉樹林の林床に生えます。葉は単葉で、光沢のある2枚の葉をつけます。花は夏の終わりに咲き、緑白色で唇弁に紅紫色の斑があります。虫媒で、風散布します。カクレミノ-スダジイ群目です。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 40箇所 117 個体 周辺</li> <li>・その他 : 14箇所 36 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 0/40 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/117 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 17/117 (割合 : 14.5%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、17株（現地調査で確認された生育株の14.5%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、17株（現地調査で確認された生育株の14.5%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (33) 重要な植物種の予測結果

33 クマガイソウ		
一般生態	<p>多年生草本で、竹林、スギ林あるいはコナラ等の二次林に生えます。葉は単葉で対生です。虫媒で風散布します。地下茎を伸ばして群生することが多く、扇形で縦しわの目立つ葉を2枚対生につけます。唇弁は袋状で大きく目立ちます。ブナ群綱です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 4個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-23 (34) 重要な植物種の予測結果

34 ツチアケビ		
一般生態	<p>大型の多年生草本で、湿った暗い腐植質の多い、竹林、スギ林、照葉樹林などに生えます。菌根性、葉は無葉緑です。茎は褐色で直立し、多くの枝を分かち、夏に多数の黄褐色の花をつけます。果実は曲がったウリ状、赤色で目立ちます。虫媒で、風散布し、ナラタケと共生します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 1箇所 1 個体</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 1 個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 3 箇所 42 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 樹林環境</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>変更される生育地点数 : 1/2 (割合 : 50.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 1/2 (割合 : 50.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、工事の実施により 1 株（現地調査で確認された生育株の 50.0%）の生育環境が消失します。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じるため、本種の生育環境は保全されないと予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、道路の存在・供用により 1 株（現地調査で確認された生育株の 50.0%）の生育環境が消失します。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じるため、本種の生育環境は保全されないと予測します。</p>

表 10.11-23 (35) 重要な植物種の予測結果

35 ミヤマウズラ		
一般生態	北海道、本州、四国、九州に分布する多年草で、亜熱帯から冷温帯にかけての樹林下に生育します。茎は匍匐して先は立ち上がり、高さ12～25cmです。葉は長さ2～4cm、幅1～2.5cmの卵形で、下部に数枚つけ、葉脈に沿って白色の斑紋があります。花期は8～9月で、淡紅をおびた白色花7～12個が一方に偏ってつきます。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :ー</li> <li>・対象事業実施区域 :5箇所 32 個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 :ー</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :ー</li> <li>・対象事業実施区域 :樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 :ー</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/5 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/32 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/32 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (36) 重要な植物種の予測結果

36 クロムヨウラン		
一般生態	<p>小形の多年生草本で、菌根性で無葉、照葉樹林の林床に生えます。花は8月に咲き淡黄白色で唇弁は紅紫色の部分があります。茎は直立しわずかに分岐し、細く堅く、花後は黒色となり、翌年までたっています。花の終わった後の茎に黒色の開出した毛状の物が見られることがありますが、これは寄生菌によるものだと思います。虫媒で、風散布します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 9箇所 39 個体 周辺</li> <li>・その他 : 4 箇所 11 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>変更される生育地点数 : 0/9 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/39 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 12/39 (割合 : 30.8%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、12 株（現地調査で確認された生育株の 30.8%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、12 株（現地調査で確認された生育株の 30.8%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。</p>

表 10.11-23 (37) 重要な植物種の予測結果

37 コクラン		
一般生態	<p>本州（福島県以南）、四国、九州、西南諸島に分布する多年草で、暖温帯の樹林下に生育します。葉はゆがんだ広楕円形で鋭頭、長さ5～15cmです。花茎は高さ15～30cmです。花期は6～7月で、5～10個の花をまばらにつけます。花は暗紫色、唇弁はくさび状倒卵形、中央が凹んで反り返ります。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 1箇所 1個体</li> <li>・対象事業実施区域 : 19箇所 102個体</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 28箇所 149個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 樹林環境</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 1/20 (割合 : 5.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 1/103 (割合 : 1.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 40/103 (割合 : 38.8%)	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、工事の実施により1株（現地調査で確認された生育株の1.0%）の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。</p> <p>また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、40株（現地調査で確認された生育株の38.8%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。</p> <p>以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、道路の存在・供用により1株（現地調査で確認された生育株の1.0%）の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。</p> <p>また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、40株（現地調査で確認された生育株の38.8%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。</p> <p>以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。</p>

表 10.11-23 (38) 重要な植物種の予測結果

38 アワチドリ		
一般生態	<p>小型の多年生草本で、葉は単葉で根生です。虫媒で風散布し、地下に丸い球根をつけます。花は淡紅紫色に濃い紅紫色の斑点があります。花期は6月、日陰から半日陰の岩場の岩隙などに生えます。イワキンバイ群目です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 10 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/10 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/10 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (39) 重要な植物種の予測結果

39 カゲロウラン		
一般生態	<p>常緑多年草で、茎は地表を這い先端は直立し、3枚ほどの葉を集めます。葉は濃緑色で縁が波打ちます。9月頃葉の集まりの中心から高さ15~25cmの花茎を出します。側萼片は緑色でやや下方に開出します。上萼片は赤みを帯びた緑色、内花被片は淡黄色です。照葉樹林のやや乾いた尾根筋などに生えます。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 3箇所3個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (40) 重要な植物種の予測結果

40 イズイワギボウシ		
一般生態		中形の多年生草本で、葉は単葉で互生し根生します。花は 8~9 月、高さ 20~40 cm の花茎に総状につき淡紫色です。虫媒で風散布します。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 8 箇所 60 個体 周辺</li> <li>・その他 : 5 箇所 38 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/8 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/60 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/60 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(41) 重要な植物種の予測結果

41 タカネマスキサ		
一般生態	<p>多年生草本で、森林または林縁の湿地に生育します。風媒で、重力散布します。葉は単葉で互生、果胞は著しく扁平、上部まで狭い翼があります。葉幅 1.5～ 2.5mm、県内では6月以降完熟となり、他のスゲ属より遅いです。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 100 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/100 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/100 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (42) 重要な植物種の予測結果

42 イヌクグ		
一般生態	多年生草本で、草地に生えます。葉は単葉です。小穂は多数で花軸に開出して付きます。茎の基部は肥厚します。風媒で、重力散布します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 50 個体 周辺</li> <li>・その他 : 4 箇所 18 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 草地 周辺</li> <li>・その他 : 草地</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/50 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/50 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (43) 重要な植物種の予測結果

43 セイタカハリイ		
一般生態	<p>多年生草本で、湿地性で葉は単葉で互生します。刺針状花被片は下向きに粗造、風媒で水散布します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所7個体 周辺</li> <li>・その他 : 1箇所20個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (水田) 周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/7 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/7 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (44) 重要な植物種の予測結果

44 クグテンツキ		
一般生態	<p>多年生草本で、湿地性で葉は単葉で互生です。葉幅 2~4mm、無毛、テンツキに似ますが、より大型で質も厚いです。小穂は数個が集まって付きま す。風媒で、風散布します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 30 個体 周辺</li> <li>・その他 : 4 箇所 46 個体</li> </ul>
確認地点の 生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (水田) 周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/30 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 10/30 (割合 : 33.3%)</p>	
	工事の 実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、10 株 (現地調査で確認された生育株の 33.3%) の生育環境は、計画路線区域に近接しているが、本種は開けた環境に生育するため工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化の影響は小さいと考えられます。 この他、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的变化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・ 供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、10 株 (現地調査で確認された生育株の 33.3%) の生育環境は、計画路線区域に近接しているが、本種は開けた環境に生育するため道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化の影響は小さいと考えられます。 この他、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (45) 重要な植物種の予測結果

45 チョウセンガリヤス		
一般生態	<p>温帯林下の乾いた場所に生える多年草で、根茎は短い。葉鞘には開出した長毛があります。しばしば閉鎖花だけからなる花序を稈頂の葉鞘の中につくります。県内の全域の雑木林などの林内に見られます。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 20 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (46) 重要な植物種の予測結果

46 ハイチゴザサ		
一般生態	<p>多年生草本で、這った稈の節部から発根し、チゴザサに比べて稈高 5～10cm と低く、小穂も小さく、小穂の柄に腺がありません。苞穎の背の上半部には長毛がまばらにあります。花期は 9～10 月です。清澄、上総丘陵など暖地の湿った林中や路傍に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 3 個体 周辺</li> <li>・その他 :—</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 :—</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-23 (47) 重要な植物種の予測結果

47 チャボチヂミザサ		
一般生態		多年生草本で、やや湿った所に生育します。花序には毛が少ないですが、葉面には微毛のほか長毛が散生しているのはコチヂミザサとのよい区別点です。生育がよいと、最上葉の葉の長さは 4~4.5cm にもなり、コチヂミザサと似ますが、葉の幅が狭いので、細長く見えます。花期は 8~10 月です。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 10 個体 周辺</li> <li>・その他 : 2 箇所 40 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/10 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/10 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (48) 重要な植物種の予測結果

48 ツルヨシ		
一般生態	<p>大型の多年生草本で、高さ1.5～3m。長い地上性の匍匐枝があり、節に毛が生えます。第一包穎は護穎の半分より長く、小穂は8～12mmです。花期は、8月～10月です。風媒で、風散布します。川岸に生育します。ツルヨシ群団です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 :1箇所10個体周辺</li> <li>・その他 :—</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 :水辺(河川)周辺</li> <li>・その他 :—</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/10 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/10 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (49) 重要な植物種の予測結果

49 セイタカヨシ		
一般生態	水辺に生える大型の多年草で、稈は高さ 2~4m にもなり、太さも 2cm ほどになり木化して硬くなります。ヨシに似ますが葉先が垂れないで上を向きます。川岸、河川敷に生育します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 200 個体 周辺</li> <li>・その他 : 6 箇所 330 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 草地 周辺</li> <li>・その他 : 草地</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/200 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/200 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (50) 重要な植物種の予測結果

50 イヌアワ		
一般生態	林下や日陰の沢沿いに生える多年草で、根茎は伸びます。円錐花序は、中軸に短い枝が交互に付き、長さ 30cm にもなります。花期は 8~10 月です。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 52 個体 周辺</li> <li>・その他 : 3 箇所 51 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/52 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 50/52 (割合 : 96.2%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、50 株（現地調査で確認された生育株の 96.2%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、50 株（現地調査で確認された生育株の 96.2%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の多くが消失する可能性が考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化が生じる可能性があるため、本種の生育環境は保全されないおそれがあると予測します。

表 10.11-23 (51) 重要な植物種の予測結果

51 オオアブラススキ		
一般生態		低山の草地に生える大型多年草で、長い地下茎があります。稈高 1m と大型で、根茎は長く鱗片に覆われます。花序の枝は斜上します。小穂は長さ 5mm、苞穎の背には長毛がやや密生します。下方小花は雄性、まれに無性、上方小花は両性で護穎の先に長さ 7~12mm の芒を出します。花期は 8~10 月です。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 21 個体 周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 10 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/21 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/21 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (52) 重要な植物種の予測結果

52 イズノシマダイモンジソウ		
一般生態	<p>小型の夏緑の多年生草本で、沢沿いの湿った崖に着生します。根茎が発達し、数本の花茎を立てます。葉はほぼ根出葉、長柄があります。偏円形で、荒く不規則に切れ込み、両面に剛毛が生えます。花序は総状で、頂生します。花は5数性です。萼片は卵形で、反り返ります。花弁は線形で不等長、下に付く1枚が長く、長さ7~13mm、白色です。雄しべは花糸が短く、葯が黄色で目立ちます。雌しべは2心皮で、離生です。果実は蒴果で、上部から裂けて、種子を散布します。虫媒で、風散布します。ハウライシダ群綱です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 20箇所 2,792 個体 周辺</li> <li>・その他 : 11箇所 623 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/20 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/2,792 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 310/2,792 (割合 : 11.1%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、310株（現地調査で確認された生育株の11.1%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、310株（現地調査で確認された生育株の11.1%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (53) 重要な植物種の予測結果

53 キリンソウ		
一般生態		高さ 20～30cm の夏緑の多年生草本で、海岸及び山地の岩場に生えます。茎は斜上し、多肉で、無毛です。葉は互生、長楕円形で、多肉、長さ 3～5cm、片側に 5～7 の鋸歯があります。花は集散花序に 10～20 個付き、5 数性、萼は披針形、花弁は狭楕円形で、黄色、長さは約 5mm です。雄しべは 10 本で、葯は黄色です。離生心皮は 5 つあります。果実は蒴果で、熟すと上部から裂けます。虫媒で重力散布します。エゾオオバコウシノケグサ群網です。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 15 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/15 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/15 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (54) 重要な植物種の予測結果

54 タコノアシ		
一般生態	<p>湿地性の多年草で、茎の地上部は直立し、分枝しません。高さ 30～80cm、花期は 8～10 月、花序の枝に多数の花が並び、タコの吸盤の付いた足のように見えます。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 2 個体 周辺</li> <li>・その他 : 5 箇所 53 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (水田) 周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>
影響予測	<p>変更される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (55) 重要な植物種の予測結果

55 ホドイモ		
一般生態	<p>多年生草本で、つる植物で長さ 100～200cm です。地下茎に紡錘体の塊根を付けます。茎は他の植物に巻き付きます。葉は 5 枚の小葉からなる複葉です。花序は偽総状花序で、1 節に 2～4 個の花を付けます。花の長さは約 1cm で、黄緑色です。花期は、7 月～9 月です。虫媒で自動散布し、日当たりの良い林縁に生育します。 ミヤマタタビーヤマブドウ群団です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 2 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 草地</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : なし	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : なし	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : なし	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-23 (56) 重要な植物種の予測結果

56 ジャケツイバラ		
一般生態	夏緑性の藤本で、枝には著しい鈎状の棘があって、他の植物の上に広がります。葉は羽状複葉で互生し照葉は6~16個で下面は粉白色です。花は4~6月に咲き黄色で雄しべは赤色、果実は長楕円形で長さ10cmです。虫媒で鳥散布し、低地遺存ブナ帯要素、ブナ群綱です。クサギ-アカメガシワ群団です。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 22箇所 58個体 周辺</li> <li>・その他 : 10箇所 20個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/22 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/58 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/58 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (57) 重要な植物種の予測結果

57 ヒメイタビ		
一般生態	<p>中型の常緑性藤本で、茎から根を出して、這い上り茎を伸ばします。枝には開出する軟毛が生えます。葉身は卵形で、長さ2～6cmです。花期は、7月～8月、虫媒で、動物内散布します。果実は、球形で約2cm、灰褐色になります。主に安房地方の林縁や崖地に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 2箇所 20個体 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (58) 重要な植物種の予測結果

58 シマナガバヤブマオ		
一般生態	<p>大型の多年生草本で、高さ 100～200cm です。葉は狭卵形から卵状長楕円形で、先端は長く尾状に伸びます。花が球状に集った小花序が数珠状に集まっています。花期は、8月～10月です。重力散布します。海岸付近の道端に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1箇所1個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 草地</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数：なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数：なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (59) 重要な植物種の予測結果

59 ヤマミズ		
一般生態	<p>小形の一年生草本で、高さ 10～15cm、黄緑色で軟弱です。群れて生えます。花は雌雄異花で 9～10 月に咲き淡緑色で雌雄が混じって柄のある花序、または無柄の集散花序に密に付きます。ほかのミズの仲間とは柄のある花序が茎の頂に立つところが異なります。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 8 箇所 503 個体 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/8 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/503 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/503 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (60) 重要な植物種の予測結果

60 カスミザクラ		
一般生態		落葉高木で、高さ 20m になります。温帯の山地に広く見られます。花期は 4~5 月で、花は葉と同時に開きます。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 1 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (61) 重要な植物種の予測結果

61 エビガライチゴ		
一般生態	別名ウラジロイチゴ。夏緑性の低木です。葉はふつう3小葉、徒長枝で5小葉になることもあります。虫媒で、被食散布します。花は淡紅紫色、花期は6月です。果実は球形で紅熟します。葉裏は綿毛に被われ雪白色です。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 1箇所 2 個体</li> <li>・対象事業実施区域 : 42 箇所 253 個体 周辺</li> <li>・その他 : 45 箇所 128 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 樹林環境</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 1/43 (割合 : 2.3%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 2/255 (割合 : 0.8%) 生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/255 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、工事の実施により2株（現地調査で確認された生育株の0.8%）の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、道路の存在・供用により2株（現地調査で確認された生育株の0.8%）の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (62) 重要な植物種の予測結果

62 アカシデ		
一般生態	高さ 15m、直径 30cm ほどになる落葉高木です。雑木林などに生え、基岩が露出するような土壌の薄いところに多い傾向があります。4～5 月に葉の展開と同時に開花します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 1 個体 周辺</li> <li>・その他 : 3 箇所 6 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (63) 重要な植物種の予測結果

63 イイギリ		
一般生態	<p>落葉高木で、雌雄異株、樹皮は灰褐色です。枝は太く、まばらです。葉は三角状心形で、葉身とほぼ同長の柄を持ちます。花は円錐花序に多く付き、萼は5枚、花弁は退化しています。雄花では、多数の雄しべがあり、雌花では雄しべは退化して子房は球形、果実は赤く成熟し、球形です。花期は、3月～5月です。虫媒で、鳥散布します。平地から丘陵地の落葉樹林に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所1個体 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (64) 重要な植物種の予測結果

64 フモトスミレ		
一般生態	<p>小型の多年生草本で、葉は暗緑色～濃緑色で裏面は紫色を帯びます。葉の表面基部に疎らに開出毛があります。唇弁は上弁や側弁より小さめで紫色のすじがあります。虫媒で虫散布します。ケヤキ群団です。林内や林縁、ときに草地に生えます。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 3箇所 88 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数：なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数：なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (65) 重要な植物種の予測結果

65 ムクゲアカバナ		
一般生態		大型の多年生草本です。休耕田等の低湿地に生え、茎は直立し、高さ1.5m 前後に達します。地下茎をひきません。茎や葉は綿毛が密生し、白っぽく見えます。柱頭は4裂しますがオオアカバナのように開出しません。花卉の長さは4~8mmです。かつてはススヤアカバナとも呼ばれていましたが、その和名の元になった標本が別種であったことから改称されました。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1箇所1個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 耕作地</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数：なし 生育環境の改変により消失する生育株数：なし 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし	
	工事の実施	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	道路の存在	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (66) 重要な植物種の予測結果

66 ウスゲチョウジタデ		
一般生態	水田や湿地に生える 1 年草です。チョウジタデに似ていますが、全体に毛が多く見られます。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 1 箇所 20 個体</li> <li>・対象事業実施区域 : 7 箇所 162 個体</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 8 箇所 65 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 水辺 (水田)</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (水田)</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 1/8 (割合 : 12.5%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 20/182 (割合 : 11.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 10/182 (割合 : 5.5%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、工事の実施により 20 株 (現地調査で確認された生育株の 11.0%) の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的变化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、道路の存在・供用により 20 株 (現地調査で確認された生育株の 11.0%) の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (67) 重要な植物種の予測結果

67 ヤナギヌカボ		
一般生態	<p>全国の河川氾濫原、休耕田、ため池畔等に生育する一年生の湿生植物です。茎は倒伏して斜上、葉は線形で両面有毛、葉裏には腺点があります。総状花序は細く、9～10月、頂生または腋生して密に花を付けます。そう果はレンズ形、茶褐色で光沢があります。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区 : 2箇所 45 個体 域周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 3 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区 : 水辺 (河川) 域周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (河川)</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/45 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/45 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的变化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (68) 重要な植物種の予測結果

68 サワハコベ		
一般生態	<p>高さ 5~10cm の夏緑の多年生草本です。スギ林等の湿った林に生育します。茎は無毛、基部は匍匐し、不定根を伸ばします。葉は三角形から菱形で、鋭尖頭、対生します。葉身とほぼ同長の柄があります。葉は全縁で、葉面にわずかな毛があります。花は上部の葉腋に単生します。花は5数性で、萼片は披針形で、鋭尖頭、白膜の縁取りはありません。花弁は、倒披針形で深く2裂します。白色で、長さ約4mm、雄しべの数は2~10本です。果実は蒴果で、楕円球です。虫媒で、重力散布します。低地遺存ブナ帯要素です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 5箇所 66個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数：なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数：なし</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数：なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-23 (69) 重要な植物種の予測結果

69 イワガラミ		
一般生態		高さ約 10mに達する夏緑の藤本で、山地の明るい林縁に生え、つるは巻き付きながら、這い登ります。樹皮は細かく縦に裂けます。葉は対生し、心形で、鋭頭、荒い鋭鋸歯があります。葉は有柄、葉身の長さは 6~10cm です。枝先に密な複散房花序を付けます。装飾花は白色、1 弁の卵状三角形の萼片が目立ちます。有性花は 5 数性で、萼片は低三角形で、鋭頭、長さ約 1mm です。花弁は、開花とともに落下します。雄しべは不等長で、長さ 3~4.5mm です。雌しべの花柱は太くて短く、花頭は 4~5 個、心皮の基部は癒合します。果実は蒴果で、上部から裂けて、種子を散布します。虫媒で風散布します。主としてブナ帯の夏緑林に生えます。低地遺存ブナ帯要素です。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 1 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (70) 重要な植物種の予測結果

70 オオバマンリョウ		
一般生態	常緑小低木ですが、2m を超えるようなものもあります。マンリョウに似ていますが葉は細長く、先端は長く尖り、葉質は薄く、濃い緑色で鋸歯は数が少ないです。虫媒で、鳥散布します。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 11 箇所 14 個体 周辺</li> <li>・その他 : 7 箇所 7 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/11 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/14 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 2/14 (割合 : 14.3%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2 株（現地調査で確認された生育株の 14.3%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2 株（現地調査で確認された生育株の 14.3%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(71) 重要な植物種の予測結果

71 リョウブ		
一般生態	夏緑中高木で、主に夏緑林の林縁に生えます。葉は単葉で互生、虫媒で、風散布します。低地遺存ブナ帯要素です。ミヤマタタビ-ヤマブドウ群団です。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 4箇所 14 個体 周辺</li> <li>・その他 : 7 箇所 15 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/4 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/14 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/14 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (72) 重要な植物種の予測結果

72 ミツバツツジ		
一般生態		夏緑低木です。葉は単葉で3輪生、虫媒で、風散布します。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所1個体 周辺</li> <li>・その他 : 2箇所4個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (73) 重要な植物種の予測結果

73 ヒカゲツツジ			
一般生態	常緑低木で、葉は単葉で互生です。花は 4～5 月に咲き淡黄色です。虫媒で風散布します。シイ・カシ帯上部からブナ帯の日陰の岩場やモミ・ゴヨウマツ林の下などに生えます。低地遺存ブナ帯要素です。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 8 箇所 72 個体 周辺</li> <li>・その他 : 2 箇所 4 個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 0/8 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/72 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/72 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (74) 重要な植物種の予測結果

74 ツルアリドオン			
一般生態	北海道、本州、四国、九州に分布する多年草です。茎は這い、長さ 20～40cm、葉は対生、卵形、常緑で光沢があります。花は 2 個接して付き、花冠は白色、漏斗状で先端は 4 裂し、内面に毛があります。果実は石果で赤く熟します。花期は 6 月です。丘陵地から山地にかけて、針葉樹植林地や二次林の林床に生育します。しばしばマット状になります。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 6 箇所 58 個体 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 0/6 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/58 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/58 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (75) 重要な植物種の予測結果

75 リンドウ		
一般生態	<p>本州、四国、九州、南西諸島に分布する多年草です。茎は直立し、高さ20～100cmです。葉は対生、卵状披針形で3脈が目立ち、先は長くとがり、柄はありません。花期は9～11月です。花は茎頂及び上部の葉腋につきます。花冠は紫色、先は5裂し、副片は三角形で小歯があります。二次林の林縁や草地、ガレ場に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 4箇所17個体 周辺</li> <li>・その他 : 1箇所6個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/17 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/17 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (76) 重要な植物種の予測結果

76 サカキカブラ		
一般生態	夏緑藤本で、照葉樹林の林床、林縁に生えますが開花結実します。株は少なく、葉は単葉で対生です。虫媒で、風散布します。カクレミノ-スダジイ群目です。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 2箇所 2 個体 周辺</li> <li>・その他 : 5 箇所 6 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23(77) 重要な植物種の予測結果

77 シタキシソウ			
一般生態	常緑藤本で、モミ林・照葉樹林などの林縁に生えます。葉は単葉で対生です。花は6月に咲き、花序は枝の上部の葉腋から出て花茎の先に2~3個の白い香りのある花をつけます。虫媒で、風散布します。カクレミノ-スダジイ群目です。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 28箇所 75個体 周辺</li> <li>・その他 : 8箇所 20個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/28 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/75 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/75 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-23 (78) 重要な植物種の予測結果

78 イヨカズラ		
一般生態	<p>多年生つる草本で、海岸の波しぶきを受ける崖にイソギクなどと共に生えます。葉は単葉で光沢があり対生です。花は 5～7 月に咲き、淡黄色です。虫媒で、風散布します。ボタンボウフウ群団です。別名はスズメノオゴケです。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 2 箇所 18 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数：なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数：なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (79) 重要な植物種の予測結果

79 メジロホオズキ		
一般生態	<p>中型の多年生草本で、茎は高さ 60～90cm、軟毛が密に生えます。葉は卵形から狭卵形です。萼は 10 裂します。花冠は、白色で、皿形です。液果は赤熟します。虫媒で、鳥散布します。花期は、6 月～10 月です。海近くの林縁に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 4 箇所 6 個体 周辺</li> <li>・その他 : 3 箇所 9 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/6 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/6 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (80) 重要な植物種の予測結果

80 ミズハコベ		
一般生態	<p>小型の多年生草本で、浅い水中に生え、茎は分枝し、50cm に達します。葉は対生します。水中葉は線形、抽水葉はへら形です。雄花は1本の雄しべ、雌花は1本の雌しべからなります。水媒で、重力散布します。湿地や水田に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 9箇所 190 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (81) 重要な植物種の予測結果

81 トウオオバコ		
一般生態	<p>多年生草本で、根は多数、高さ 40～80cm です。葉は卵形で、厚めな革質、葉身の長さは 8～25cm です。多数の白い花を、穂状に付けます。種子は角張っていて、1果に 7～14 個です。花期は、7 月～8 月です。虫媒で重力散布します。汽水域の河岸などの水辺に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 :— 周辺</li> <li>・その他 :1 箇所 1 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 :—</li> <li>・対象事業実施区域 :— 周辺</li> <li>・その他 :水辺 (河川)</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数：なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数：なし</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数：なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、橋脚設置予定の河川では低水路に接しない位置に橋脚を設置するとともに、必要に応じて仮設材料による一時的な流路の切り回し等を実施する場合は、濁水の発生に留意した工法及び濁水を河川等に流さない方法を検討することから、水質・水量の変化による生育環境の質的变化はほとんど生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、橋脚設置予定の河川では低水路に接しない位置に橋脚を設置することから、水量の変化による生育環境の質的变化はほとんど生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (82) 重要な植物種の予測結果

82 クルマバナ		
一般生態	<p>多年生草本で、高さ 20~80cm、葉は卵形、長さ 2~4cm です。小苞は線形で花柄より長く開出します。長毛があり、花冠は赤紫色です。輪散花序は、やや離れて付きます。花期は、8 月~9 月です。虫媒で重力散布します。草地に生育します。ススキ群綱です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1箇所 10 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 草地</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (83) 重要な植物種の予測結果

83 カリガネソウ		
一般生態	夏緑小低木で、やや湿った肥沃な林の林縁に生えます。葉は単葉で対生です。虫媒で、鳥散布します。ヨモギ群綱です。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 2箇所 180 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : なし	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : なし	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : なし	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (84) 重要な植物種の予測結果

84 ヤマホタルブクロ		
一般生態	道端の草地など明るい林縁や草地に生える多年草です。短い地下茎を引 き、茎の高さは 30～80cm です。葉は互生で、根生葉は長い柄を持ちます。 花は 6～7 月、花冠は 40～50mm です。萼裂片が卵状三角形で反り返りませ ん。ホタルブクロは披針形の萼裂片が反り返ります。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 3 個体 周辺</li> <li>・その他 : 2 箇所 33 個体</li> </ul>
確認地点の 生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)	
	工事の 実施	工事施工ヤ ードの設置 及び工事用 道路等の設 置  計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生 育環境は保全されると予測します。
	存在・ 供用	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本 種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-23 (85) 重要な植物種の予測結果

85 タニギキョウ		
一般生態	<p>北海道、本州、四国、九州に分布する軟弱な多年草で、山地の二次林内のやや湿った所に生育します。茎は高さ5~15cmです。葉は互生し、卵円形で先は鈍く、基部は円く、表面は緑色で裏面は白緑色です。花期は6~8月です。花は茎の頂または上部の葉腋に上向きに1個付き、果時には下垂します。花冠は漏斗形、白色またはわずかに淡紫色を帯び、5深裂します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 13箇所 768 個体 周辺</li> <li>・その他 : 15箇所 1,340 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>変更される生育地点数 : 0/13 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/768 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 100/768 (割合 : 13.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、100株（現地調査で確認された生育株の13.0%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、100株（現地調査で確認された生育株の13.0%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (86) 重要な植物種の予測結果

86 オカダイコン		
一般生態	<p>多年性草本で、高さ 30～150cm です。葉は対生し、8 対～12 対です。卵形で、葉身の長さは 10～30cm です。多数の白い筒状花を付けた頭花を散房状に付けます。そう果は倒披針形で、腺点があります。花期は、7 月～8 月です。虫媒で重力散布します。湿った林縁に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 3 箇所 4 個体 周辺</li> <li>・その他 : 10 箇所 161 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/3 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (87) 重要な植物種の予測結果

87 イヌヨモギ		
一般生態	<p>小中型の多年性草本で、茎は高さ 30～80cm、花時、下の葉は枯れていません。花の咲かない茎はロゼット状です。葉は広いさじ形で、大きな鈍鋸歯があります。総状円錐花序に下向きに多数の頭花を付けます。風媒で、風散布します。花期は、8月～10月です。乾いた丘陵の斜面に生育します。ススキ群綱です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 4箇所 20 個体 周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 7 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/4 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (88) 重要な植物種の予測結果

88 イソギク		
一般生態	<p>海岸部の岩場や斜面にはえる多年草です。葉は長さ 4~8cm で厚く、裏面には白毛が密生します。葉裏の毛は葉縁までであるため、表面から見ると葉が白く縁取られているように見えます。花は 10 月の末から 11 月にかけて咲き、舌状花を欠きます。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 5 箇所 67 個体 周辺</li> <li>・その他 : 4 箇所 4 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/67 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/67 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-23 (89) 重要な植物種の予測結果

89 ミヤマチドメ		
一般生態	<p>小型の匍匐多年生草本で、高さ 1cm～4cm です。茎は糸状で地を這い、葉身は円形、深く 5 裂します。花は緑色で枝の先端に 2 個から 4 個付きます。花期は、6 月～11 月です。虫媒で、重力散布します。常緑樹の林床に生育します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1 箇所 5 個体 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : ー</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

b) 藻類

予測地域に生育地の存在が考えられる重要な藻類の予測結果を表 10.11-24 に示します。

表 10.11-24 重要な藻類の予測結果

1 タンスイベニマダラ		
一般生態		藻体は紅色から褐色がかかった紅色です。小斑点として現われ岩面を被い尽くします。藻体の表面観から、ほぼ円形の細胞が密接して並び、若い藻体の周縁部では細胞は放射状に配列しています。本種に四分胞子は確認されておらず、増殖はストロンと糸状体の不定切断によります。各細胞から仮根状のストロンを生じ、新しい藻体に発達します。湧水源や河川上流部、貧栄養の溪流中の岩盤を覆うように着生しています。紅藻 <i>Audouinella chalybea</i> 、褐藻イヅミシノカワ <i>Heribaudiella fluviatilis</i> 、地衣類のアナイボゴケ科と同所的に生育することが多く見られます。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 3箇所 30 個体</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1 箇所 10 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (河川)</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (河川)</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/3 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/30 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/30 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、橋脚設置予定の河川では低水路に接しない位置に橋脚を設置するとともに、必要に応じて仮設材料による一時的な流路の切り回し等を実施する場合は、濁水の発生に留意した工法及び濁水を河川等に流さない方法を検討することから、水質・水量の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、橋脚設置予定の河川では低水路に接しない位置に橋脚を設置することから、水量の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

c) 蘚苔類

予測地域に生育地の存在が考えられる重要な蘚苔類の予測結果を表 10. 11-25 に示します。

表 10. 11-25(1) 重要な蘚苔類の予測結果

1 ヒトデゼニゴケ		
一般生態		低地の土手や崖上に緑色の大きな群落をつくる葉状タイ類です。葉状体は長さ約 2~4cm、幅数 mm、表面の中心に黒い線があり、気室は分化し、気室孔は断面で樽状です。腹鱗片は 4 列、附属物は鋸歯で縁取られます。雌雄異株です。無性芽は鼓状、雌雄床は本種の特徴となっており、結んだ「人手」に似て、和名の由来にもなっています。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 4 箇所 22 個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数 : 0/4 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/22 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 1/22 (割合 : 4.5%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、1 株（現地調査で確認された生育株の 4.5%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、1 株（現地調査で確認された生育株の 4.5%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的変化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-25(2) 重要な蘚苔類の予測結果

2 ヒナゼニゴケ		
一般生態	<p>全国の石灰岩地において、湿った崖に明るい緑色の群落をつくる葉状タイ類です。葉状体は匍匐し、気室があり、気室孔は断面でアーチ状、腹鱗片は2列に並びます。雌雄同株です。イチョウの胚珠の外見に似る雌雄托をつけることが本属の特徴で、近縁種とは腹鱗片の形態によって区別されず。</p>	
確認状況	現地調査	<p>・計画路線区域 : -                      ・対象事業実施区域 : -                      周辺                      ・その他 : 1箇所1個体</p>
確認地点の生育環境	現地調査	<p>・計画路線区域 : -                      ・対象事業実施区域 : -                      周辺                      ・その他 : 樹林環境</p>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。                      また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。                      以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。                      また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。                      以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-25(3) 重要な蘚苔類の予測結果

3 イチョウウキゴケ		
一般生態		低地の池や水田の水面に浮遊し、畑や秋に水を落とした水田の土上にも見られるタイ類です。植物体は2又状に分岐しイチョウの葉形に似た形となり、和名の由来となっています。葉状体は背腹性があり、赤みを帯びた緑色、長さ 1~1.5cm、幅 4~8mm、数層の通気組織が分化し、気室孔は明瞭です。雌雄同株です。胞子体は葉状体に埋もれます。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 9 箇所 54 個体 周辺</li> <li>・その他 : 12 箇所 40 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 水辺 (水田) 周辺</li> <li>・その他 : 水辺 (水田)</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/9 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/54 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 33/54 (割合 : 61.1%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、33 株 (現地調査で確認された生育株の 61.1%) の生育環境は、計画路線区域に近接していますが、本種は開けた環境に生育するため工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化の影響は小さいと考えられます。 この他、濁水の発生に留意した工法及び濁水を水路等に流さない方法を検討することから、水質の変化による生育環境の質的変化はほとんど生じないと考えられます。さらに、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、工事の実施による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。
存在・供用	道路の存在	計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、33 株 (現地調査で確認された生育株の 61.1%) の生育環境は、計画路線区域に近接しているが、本種は開けた環境に生育するため道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化の影響は小さいと考えられます。 この他、水田は人為的に水位等を管理された環境であることから、道路の存在・供用による水量の変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-25(4) 重要な蘚苔類の予測結果

4 カビゴケ		
一般生態	<p>植物体は淡緑色で、基物上を匍います。茎は長さ 1cm より短く、不規則に分枝します。葉の背片は斜めに開出し、強く背側に偏向し、長楕円形で全縁、5~10 数個の眼点細胞が散在します。葉の腹片は背片の 5 分の 2 の長さで、楕円形で切頭です。腹葉は離在し、深く広く二裂し、裂片は細長い角状（1~2 細胞幅、3~4 細胞長）です。近似種との区別は、独特の臭気を発することによって容易にその存在を確認することができます。溪流沿いの湿度の高い林の常緑樹やシダの生葉上に着生しますが、樹幹上や時に岩上にも着生します。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 6 箇所 60 個体 周辺</li> <li>・その他 : 5 箇所 50 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/6 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/60 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 10/60 (割合 : 16.7%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、10 株（現地調査で確認された生育株の 16.7%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、10 株（現地調査で確認された生育株の 16.7%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられますが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-25(5) 重要な蘚苔類の予測結果

5 イクタマユハケゴケ		
一般生態	<p>低地の落葉樹林や常緑樹林の林床に白緑色の小さな群落を作る直立性セン類です。茎は 1.5~3.0cm、先端に多数に枝分かれした小さい枝をつけ、無性芽をたくさん付けます。葉は広い披針形、3.5mm 以下、基部の幅は 0.5mm 以下です。葉身細胞は矩形、表面は平滑です。胞子体は知られていません。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 5 箇所 41 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数：なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数：なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-25(6) 重要な蘚苔類の予測結果

6 ヒメイサワゴケ		
一般生態	常緑樹林帯の渓谷において、杉の樹幹の割れ目や根元に着生する直立性セン類です。茎葉体は長さが1cm以下、広披針形、縁に1~2細胞列の透明な舷があります。中肋は強く、鞘部の肩に長い透明な棘があります。葉身細胞は方形で、背面に長い乳頭があります。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所1個体 周辺</li> <li>・その他 : 8箇所26個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-25(7) 重要な蘚苔類の予測結果

7 ムツコネジレゴケ		
一般生態	<p>本州以南の低地において、渓谷や道路脇の地面や転石、崖に小さな群落を作る直立性セン類です。茎葉体は褐色を帯びた緑色、直立し、長さが 1～2cm です。葉は細長い楕円形、中肋は 1 本で突出しています。葉身細胞はほぼ四角形で、表面は多裂する乳頭で被われます。中肋背面の細胞は上下両端に乳頭があります。クチヒゲゴケに似ていますが、茎が黒く、葉の輪郭が半ばで窪まないことで区別されます。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 2 箇所 2 個体 周辺</li> <li>・その他 : 4 箇所 4 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 耕作地 周辺</li> <li>・その他 : 耕作地、樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>変更される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

表 10.11-25(8) 重要な蘚苔類の予測結果

8 アツブサゴケ		
一般生態		落葉樹林帯の樹上や岩上に、光沢のある深緑色の大きな群落を作る匍匐性セン類です。茎は長さ5~10cmになり、密に分枝して多くの枝が斜上します。葉は乾くと枝に密着し、光沢があり、広披針形、細く漸尖し、多くの深い縦しわがあり、葉縁に小さい歯があります。葉身細胞は長楕円形~線形、中肋は葉の2/3~3/4に達します。県内で孢子体は確認されていません。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所2個体 周辺</li> <li>・その他 : 1箇所1個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境(林縁) 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境(林縁)</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 2/2 (割合 : 100.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置  計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2株(現地調査で確認された生育株の100.0%)の生育環境は、計画路線区域に近接しているが、本種が確認された場所は北向き斜面の林縁部の岩壁であり南側の樹林は改変されないため、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化の影響は小さいと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在  計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、2株(現地調査で確認された生育株の100.0%)の生育環境は、計画路線区域に近接しているが、本種が確認された場所は北向き斜面の林縁部の岩壁であり南側の樹林は残存するため、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化の影響は小さいと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。

表 10.11-25(9) 重要な蘚苔類の予測結果

9 キブリナギゴケ		
一般生態	<p>山地の溪谷において林床に大きな群落を作るセン類です。一次茎は地中をはい、二次茎は立ち上がって多くの枝を 2~3 回羽状に出し、樹状になります。一次茎の葉は腎臓形~半円形です。二次茎は広卵形で、先端は急に細く尖って反り返ります。中肋は葉長の 3/4 前後または葉先で終わり、背面の先端に 1 個の刺があります。葉身細胞は狭楕円形~線形です。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 5 箇所 5 個体 周辺</li> <li>・その他 : 6 箇所 6 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 1/5 (割合 : 20.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、1 株（現地調査で確認された生育株の 20.0%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、工事の実施に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられるが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在し、1 株（現地調査で確認された生育株の 20.0%）の生育環境は、計画路線区域に近接していることから、道路の存在・供用に伴い光環境等の変化による生育環境の質的变化が生じ、生育環境の一部が消失する可能性が考えられるが、対象事業実施区域周辺に生育環境が多く残存します。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-25(10) 重要な蘚苔類の予測結果

10 アオイトゴケ		
一般生態	<p>広葉樹林帯の石灰岩や蛇紋岩などに生育する匍匐性セン類です。一次茎は匍匐し、二次茎は斜上し、長さ 2~6cm、不規則に分枝します。葉は長さ 1.2~1.8 mm、広卵形の基部から舌形になります。中肋はやや透明で、先端近くに達し、葉身部を左右不等に分けます。葉身細胞は方形~短矩形、多くの小さいパピラがあって暗いです。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 2箇所2個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : -</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数：なし</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数：なし</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しません。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>	

d) 地衣類

予測地域に生育地の存在が考えられる重要な地衣類の予測結果を表 10. 11-26 に示します。

表 10. 11-26 (1) 重要な地衣類の予測結果

1 フトネゴケ (シラチャフトネゴケ)			
一般生態	主として樹皮着生、時に岩上生です。中～小形の葉状です。背面は灰白色で、顆粒状から円筒状の裂芽を生じます。縁部には根元が顕著に膨らんだ単一の黒いシリアを生じます。腹面は褐色、単一の偽根を密生します。近縁属のゴンゲンゴケ属やトゲウメノキゴケ属の裂芽を生ずる種と似ますが、根元の膨れるシリアを生ずることで容易に区別できます。		
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所3個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 1箇所10個体</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>	
影響予測	変更される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/3 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-26(2) 重要な地衣類の予測結果

2 ハイイロウメノキゴケ属の一種		
一般生態	<p>県内にはシラチャウメノキゴケとタナカウメノキゴケの2種が分布します。何れも主に樹皮着生です。中形の葉状地衣で、直径10cm程度になります。裂片は丸く、先端は丸く、先端部で多少斜上します。縁部にシリアを欠き、背面は灰緑色で、微小な粉芽塊を散生します。両種の区別には、化学成分を検査する必要があります。</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所5個体 周辺</li> <li>・その他 : 2箇所15個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-26(3) 重要な地衣類の予測結果

3 センシゴケ			
一般生態		岩上あるいは樹皮上に生育する葉状地衣です。円形に生長し、大きいものでは直径 20cm を超えるマットを作ることがありますが、千葉県では直径 10cm に達することはまれです。裂片は線形で中空（中が空洞でストロ一状）、背面は膨れ、所々に丸い孔を生じるのが特徴です。	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所1個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>	
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%) 生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)		
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。	

表 10.11-26(4) 重要な地衣類の予測結果

4 ヤスダゴケ (ヤスダウメノキゴケ)		
一般生態	<p>岩上生ないし樹皮着生です。中～小形の葉状で、羽状ないし不規則分枝します。裂片は線形、楕状で、隣と離れ、先端部はほぼ平臥しますか多少斜上します。背面は灰緑色から緑色で、縁部に沿って顆粒状の裂芽を生じま</p>	
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所1個体 周辺</li> <li>・その他 : 1箇所10個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/1 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-26(5) 重要な地衣類の予測結果

5 チヂレマツゲゴケまたはウラグロマツゲゴケ		
一般生態		<p>【チヂレマツゲゴケ】</p> <p>主に樹皮着生の中～大型の葉状地衣です。直径 5～15cm で、裂片は丸く、縁部にシリアをつけます。背面は灰白色から灰緑色、裂芽を密生し、マキラを生じることがあります。裂芽は背面に多数生じ、円筒状からサンゴ状で、頂部にシリアを付けることがあります。髓層は白色、UV です。腹面は黒色で、地衣体周辺部の狭い範囲で (2～3mm) 淡褐色から褐色です。地衣体 K+ 黄色、髓層 K+ 黄色、C -、KC -、P+ 赤橙色。アトラノリン、スチクチン酸、コンスチクチン酸を含みます。</p> <p>【ウラグロマツゲゴケ】</p> <p>樹皮着生。中形の葉状地衣。裂片は丸く、縁は多少斜上し、単一の黒色のシリアを生じます。背面は灰白色ないし灰緑色、網状紋を欠き、裂芽を生じます。腹面は中央部で暗褐色から黒色、ほぼ単一で黒色の偽根を密生しますが、周縁部は褐色で偽根を欠く。皮層 K+ 黄色、髓層 K+ 黄色のち血赤色、C -、KC -、P+ 濃黄色。アトラノリン、サラチン酸、リヘキサントンを含みます。</p>
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 3 箇所 40 個体 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/2 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数 : 0/20 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置
存在・供用	道路の存在	<p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。</p> <p>また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的変化は生じないと考えられます。</p> <p>以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-26(6) 重要な地衣類の予測結果

6 キクバゴケ属の一種		
一般生態		<p>岩上生の葉状地衣です。硬い岩質の露頭がほとんど無い県内では、屋根瓦、墓石・石碑などの人為的な環境に見出されることが多いです。地衣体裂片は幅の狭い（1～2mm 前後）線形で、繰り返し分枝し、互いに重なり合い、全体として円形のマット（大きいものでは直径 20cm を超えることがある）を形成します。裂片背面は、多少とも灰色あるいは緑色を帯びた淡黄色（皮層にウスニン酸を含む）で、やや光沢があり、粒状の裂芽を生じます。</p>
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : ー</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 1箇所 30 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : ー</li> <li>  周辺</li> <li>・その他 : 水辺（水田）</li> </ul>
影響予測	変更される生育地点数：なし	
	生育環境の改変により消失する生育株数：なし	
	生育環境の質的変化が生じる可能性のある生育株数：なし	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-26(7) 重要な地衣類の予測結果

7 コナカワラゴケ		
一般生態		樹皮着生ないし岩上生です。小形の葉状地衣で、裂片は狭く分枝し、幅はほぼ一様（1～数 mm）で、互いに圧着し、先端部はやや丸く、縁部まで基物に圧着します。背面はほぼ平坦、灰色で、粒状あるいは円筒状の裂芽をつけます。腹面は縁部近くまで類白色からほぼ黒色の単一の偽根を密生します。子器はレキデア型で、盤はほぼ黒色です。ラン藻を共生藻とします。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所 30 個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/30 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/30 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。

e) 大型菌類（きのこ類）

予測地域に生育地の存在が考えられる重要な大型菌類（きのこ類）の予測結果を表 10.11-27 に示します。

表 10.11-27(1) 重要な大型菌類（きのこ類）の予測結果

1 マユハキタケ		
一般生態		大径木依存種です。子実体は通常タブノキの樹幹に樹皮を破って生じます。子実体は始め内外の2層の被膜におおわれ、のち外被膜は破れ、薄い内被膜に包まれた基本体が柱状に1~2cmの高さに伸び上がります。ついで内被膜が破れ、内部に子嚢を含み、上部は細裂した菌糸束からなる刷毛状の基本体を露出します。子嚢はこの基本体中に散在します。不完全世代はPenicillium型。発生基質となる樹木は他にツブラジイやイヌビワにも生じると言われています。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 1箇所 5個体</li> <li>・対象事業実施区域 : 2箇所 25個体</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 13箇所 323個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : 樹林環境</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 1/3 (割合 : 33.3%)	
	生育環境の改変により消失する生育株数 : 5/30 (割合 : 16.7%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/30 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、工事の実施により5株（現地調査で確認された生育株の16.7%）の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。</p> <p>また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。</p> <p>以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在し、道路の存在・供用により5株（現地調査で確認された生育株の16.7%）の生育環境が消失しますが、計画路線区域周辺に生育環境が多く残存します。</p> <p>また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。</p> <p>以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は小さいため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

表 10.11-27(2) 重要な大型菌類（きのこ類）の予測結果

2 アミヒカリタケ		
一般生態		<p>熱帯要素です。クヌギタケ科にあって子実層が管孔状となる点、子実体全体が発光性を持つという著しい特徴を持ちます。森林内の広葉樹の枯れ木上に群生～束生する木材腐朽菌です。子実体全体、特に柄に発光性がありますが、千葉産のものは肉眼的な発光が見られないものもあります。傘は直径 1～3cm です。表面は平滑で粘性はなく、幼時は暗灰色ですがしだいにクリーム色から白色の淡色となります。湿時には裏の管孔が透けて見えます。孔口は多少放射状に配列します。</p>
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 5 箇所 5 個体 周辺</li> <li>・その他 : 4 箇所 4 個体</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : ー</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺</li> <li>・その他 : 樹林環境</li> </ul>
影響予測	<p>改変される生育地点数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の改変により消失する生育株数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	<p>生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育株数 : 0/5 (割合 : 0.0%)</p>	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本種の生育環境が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本種の生育環境が存在しますが、計画路線区域に近接する本種の生育環境がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本種の生育環境は保全されると予測します。</p>

f) 植物群落

予測地域に生育地の存在が考えられる重要な植物群落の予測結果を表 10.11-28 に示します。

表 10.11-28(1) 重要な植物群落の予測結果

1 鋸山の森林		
該当群落等の状況		該当群落は、原生林もしくはそれに近い自然林で、植生の相観区分が暖温帯常緑広葉高木林に分類されます。面積は3haです。
確認状況	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 1箇所</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
確認地点の生育環境	現地調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画路線区域 : -</li> <li>・対象事業実施区域 : 樹林環境</li> <li>周辺</li> <li>・その他 : -</li> </ul>
影響予測	改変される生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育地点数 : 0/1 (割合 : 0.0%)	
	工事の実施	<p>工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置</p> <p>計画路線区域には、本群落が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本群落が存在しますが、トンネルで通過し計画路線区域に近接する本群落がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本群落は保全されると予測します。</p>
	存在・供用	<p>道路の存在</p> <p>計画路線区域には、本群落が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本群落が存在しますが、トンネルで通過し計画路線区域に近接する本群落がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本群落は保全されると予測します。</p>

表 10.11-28(2) 重要な植物群落の予測結果

2 鋸山のホソバカナワラビ-スダジイ群集・クリ-コナラ群集など		
該当群落等の状況		<p>【地形と植生】                      急峻な尾根が 329mの山頂から明鐘岬に落ちており、かつては、海底で固結した凝灰質砂岩を房州石として切り出していました。現在でも採石跡の断崖が随所に見られます。                      岩壁の北斜面にはヒカゲツツジの群落が残されており、かつてはヒメコマツが存在した可能性があります。南斜面の岩場には、房総半島ではまれなイワギボウシの断片的な群落があります。かつてはこのような岩場にアワチドリも見られたといえます。乾いた稜線の岩場には、コナラにマルバアオダモ、ウリカエデ、ナンキンナカマド、ツクバスゲなどを交えた夏緑林があります。クリ-コナラ群集と考えられ、房総半島ではまれな群落です。また、そのような林の一部には、房総半島固有の変種と考えられるノコギリヒゴタイも見られます。山の南側斜面にはホソバカナワラビ-スダジイ群集があります。また乾いた岩場には海拔 100mを越えるところまで、マルバノハマシャジン、イソギク、アシタカマツムシソウなどの海崖植物群落が見られます。</p> <p>【主要な植物群落】                      ・多年草ゾーン：イソギク-ハチジョウススキ群集                      ・高木ゾーン：シキミ-モミ群集、ホソバカナワラビ-スダジイ群集、クリ-コナラ群集</p>
確認状況	現地調査	・計画路線区域 : - ・対象事業実施区域 : 1箇所 周辺 ・その他 : -
確認地点の生育環境	現地調査	・計画路線区域 : - ・対象事業実施区域 : 樹林環境 周辺 ・その他 : -
影響予測	改変される生育地点数：0/1（割合：0.0%） 生育環境の質的变化が生じる可能性のある生育地点数：0/1（割合：0.0%）	
	工事の実施	工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置 計画路線区域には、本群落が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本群落が存在しますが、トンネルで通過し計画路線区域に近接する本群落がないことから、工事の実施に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、工事の実施に伴う生育環境への変化は生じないため、本群落は保全されると予測します。
	存在・供用	道路の存在 計画路線区域には、本群落が存在しません。 また、対象事業実施区域周辺には、本群落が存在しますが、トンネルで通過し計画路線区域に近接する本群落がないことから、道路の存在・供用に伴う光環境等の変化による生育環境の質的变化は生じないと考えられます。 以上より、道路の存在・供用に伴う生育環境への変化は生じないため、本群落は保全されると予測します。

### 3) 環境保全措置の検討

#### (1) 環境保全措置の検討

予測結果より、道路の存在、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に係る植物への環境負荷を低減するための環境保全措置について、保全措置の効果や不確実性、他の環境への影響を含め検討した結果、「工事施工ヤード及び工事用道路の対象事業実施区域内利用」、「照明の漏れ出しの抑制」、「仮設沈砂池、濁水処理施設の設置」、「河川への影響に配慮した施工」及び「重要な植物種の移植」を採用します。

検討した環境保全措置を表 10.11-29 に示します。

表 10.11-29 環境保全措置の検討

環境保全措置	保全対象	採用・不採用	採用・不採用の理由
工事施工ヤード及び工事用道路の対象事業実施区域内利用	植物全般	採用	工事施工ヤードや工事用道路等を対象事業実施区域内に設置し、改変区域を極力少なくすることにより、対象事業実施区域周辺に生育する植物への間接的な影響の低減が見込まれることから、本環境保全措置を採用します。
照明の漏れ出しの抑制	植物全般	採用	設置する照明は極力外部に向けないよう配慮するとともに、照明上部に遮光板を設ける等の方法で光の漏れ出しを防ぐことにより、植物の発芽・開花サイクルへ影響の低減が見込まれることから、本環境保全措置を採用します。
仮設沈砂池、濁水処理施設の設置	水生植物（維管束植物・藻類等）	採用	仮設沈砂池や濁水処理施設を設置し、濁水の流出を防止・低減することにより、水生植物（維管束植物・藻類等）の生育環境への影響の低減が見込まれることから、本環境保全措置を採用します。
河川への影響に配慮した施工	水生植物（維管束植物・藻類等）	採用	河川内における仮設工事等において、止水性の高い仮締切工の採用や、矢板や杭の打設や引き抜き等の際の水の濁りの防止に努めることで、水生植物（維管束植物・藻類等）の生育環境への影響の低減が見込まれることから、本環境保全措置を採用します。
重要な植物種の移植	マツバラシ、ウチワゴケ、シロヤマシダ、ノコギリシダ、ギンラン、キンラン、ツチアケビ、クロムヨウラン、コクラシ、イヌアワ	採用	対象種の生態等を踏まえ、適切な場所に対象種の移植を行うことにより、消失の代償が見込まれることから、本環境保全措置を採用します。

#### (2) 検討結果の検証

実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断されます。

(3) 検討結果の整理

環境保全措置に採用した「工事施工ヤード及び工事用道路の対象事業実施区域内利用」、「照明の漏れ出しの抑制」、「仮設沈砂池、濁水処理施設の設置」、「河川への影響に配慮した施工」及び「重要な植物種の移植」の効果、実施位置、他の環境への影響等について整理した結果を表 10.11-30 に示します。

なお、環境保全措置の具体化にあたっては、実施主体である事業者が専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとします。

表 10.11-30(1) 検討結果の整理

実施内容	種類	工事施工ヤード及び工事用道路の対象事業実施区域内利用
	位置	対象事業実施区域
保全対象		植物全般
環境保全措置の効果		改変区域を極力少なくすることにより、生育環境への影響の低減が見込まれる
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		動物・生態系への影響も低減される

表 10.11-30(2) 検討結果の整理

実施内容	種類	照明の漏れ出しの抑制
	位置	道路照明の設置箇所
保全対象		植物全般
環境保全措置の効果		植物の生活の攪乱の低減が見込まれる
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		動物・生態系への影響も低減される

表 10.11-30(3) 検討結果の整理

実施内容	種類	仮設沈砂池、濁水処理施設の設置
	位置	対象事業実施区域
保全対象		水生植物（維管束植物・藻類等）
環境保全措置の効果		濁水の流出を防止・低減することにより、水生植物（維管束植物・藻類等）の生育環境への影響の低減が見込まれる
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		水質・動物・生態系への影響も低減される

表 10.11-30(4) 検討結果の整理

実施内容	種類	河川への影響に配慮した施工
	位置	河川の改変及び水底の掘削を行う箇所
保全対象		水生植物（維管束植物・藻類等）
環境保全措置の効果		河川内における仮設工事等において、止水性の高い仮締切工の採用や、矢板や杭の打設や引き抜き等の際の水の濁りの防止に努めることで、水生植物（維管束植物・藻類等）の生育環境への影響の低減が見込まれる
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		水質・動物・生態系への影響も低減される

表 10.11-30(5) 検討結果の整理

実施内容	種類	重要な植物種の移植
	位置	生育地近傍
保全対象		マツバラシダ、ウチワゴケ、シロヤマシダ、ノコギリシダ、ギンラン、キンラン、ツチアケビ、クロムヨウラン、コ克蘭、イヌアワ
環境保全措置の効果		対象種の生態等を踏まえ、適切な場所に対象種の移植を行うことにより、消失の代償が見込まれる
効果の不確実性		生育を完全に維持・保全できるか不確実性が残る
他の環境への影響		特になし

#### 4) 事後調査

##### (1) 事後調査の必要性

予測手法は、事業の実施に伴う改変範囲と重要な種及び群落等の生育地の分布範囲を重ね合わせ、科学的知見及び類似事例を参考に予測しており、予測の不確実性は小さいと考えます。

環境保全措置は、既存の知見及び事例、専門家等の意見を参考に実施しますが、「重要な植物種の移植」については、環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、環境影響評価法に基づく事後調査を実施します。事後調査の概要を表 10.11-31 に示します。

表 10.11-31 事後調査の内容

調査項目	調査内容
移植した植物の生育状況調査	○調査時期 工事中を基本とし、各種の生活史及び生育特性等に応じて設定します。 ○調査地域 移植を講じた植物の移植先生育地 ○調査方法 移植個体の生育状況（株数、形状・植物高、開花・結実状況等）、並びに生育環境の状況の確認

##### (2) 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが判明した場合の対応

事後調査の結果により、事前に予測し得ない事業の実施による環境上の著しい影響が生じたことが判明した場合は、事業者が関係機関と協議し、専門家の意見及び指導を得ながら適切な措置を講じます。

##### (3) 事後調査結果の公表方法

事後調査結果の公表方法については、原則として事業者が行うものとしますが、公表時期・方法については、関係機関と連携しつつ、適切に実施します。

## 5) 評価

### (1) 回避又は低減に係る評価

計画路線は、既設道路に並走して増設されるものであるため、道路の存在、工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴い重要な植物の生育地等の改変が生じますが、計画路線は道路の計画段階において、既設道路を効率的に活用することにより、自然環境の改変量を極力抑えた計画としています。また、計画路線の位置は、集落及び市街地を回避しながら、河川や樹林など重要な植物の生育地等の改変が可能な限り小さくなるよう配慮した計画としており、植物への環境負荷の回避または低減を図っています。

さらに、環境保全措置として、工事の実施においては「工事施工ヤード及び工事用道路の対象事業実施区域内利用」、「仮設沈砂池、濁水処理施設の設置」、「河川への影響に配慮した施工」及び「重要な植物種の移植」、道路の存在においては「照明の漏れ出しの抑制」を実施することにより、環境影響をできる限り回避または低減を図ります。なお、移植を実施した重要な種については、環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、事後調査を実施するほか、予測し得ない影響が生じた場合は別途対策を講じます。

このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避または低減されているものと評価します。